

週刊

GAINAX総監修ビジュアル・ガイドブック

新訂版

EVANGELION

CHRONICLE

エヴァンゲリオン・クロニクル

28

定価 **690**円 (税込)

2010/8/17

Mechanic Sheet

エヴァンゲリオン式号機 **C**

Character Sheet

冬月コウゾウ **B**

Tactics Sheet

葛城調査隊 & 国連セカンドインパクト調査団

Installation Sheet

南極

Timeline Sheet

リスとの邂逅

Technology Sheet

遺伝子

Extra Sheet

用語辞典 / 放映リスト / トピックス



特製バインダー 発売中!

DeAGOSTINI

インターネットで
パーツワークをより詳しく deagostini.jp

新世紀エヴァンゲリオン

イベントクロニクル

NEON GENESIS EVANGELION EVENT CHRONICLE

TV放送開始前より行なわれていたエヴァの関連イベント。とくにブーム最盛期には、セル画やガレージキットの展示会なども行なわれ、各地で盛り上がりを見せた。ここでは、そんなエヴァのイベントの主だったものを年表にして紹介していく。

1995年 3月3日~12日 「10Daysアミューズメントパーク」

銀座のソニービルにて開催された角川書店「Newtype」10周年を記念したイベント。エヴァのパネル展示のほか、パネルのイラストを使用した告知葉書も配布された。

7月22・23日 「ガイナ祭'95」

茨城県の潮来ホテルで開催されたガイナックス主催のイベント。TV放映に先行して第壹話、第貳話の16ミリフィルムを上映、さらに庵野監督のトークショーも行なわれた。

1996年 4月28日 「SFセミナー'96」

水道橋の全通会館にて開催されたSFイベント。その中で庵野監督と翻訳家の大森望氏、ライターの小黒祐一郎氏による座談会が行なわれている。TV放送終了後、庵野監督が直接ファンの前で作品について語った最初のイベント。

5月4日~19日 「GAINAX公認エヴァンゲリオンイベント ガレキゲリオン」

東京渋谷の海洋堂ホビーロビーで開催されたGKコンペ。各メーカーのGK展示や販売、セル画などの資料展示が行なわれた。また、1997年には劇場公開を記念して「ガレキゲリオンDEATH」(2月20日~3月9日)、「ガレキゲリオンREBIRTH」(3月14日~23日)も開催された。

6月16日 「ガイナックス新年度会」

東京六本木のディスコ「ヴェルファーレ」で開催されたGAINAXの新年度会。1997年春にリメイク版の第貳拾伍話と最終話を劇場で公開することが発表された。

8月29日 「エヴァンゲリオンイベント」

東京・豊島公会堂にて開催。第拾六話、第貳拾話、第貳拾伍話の上映、および庵野監督と声優陣のトークショーが行なわれた。

12月31日 「エヴァ・セレクション年越しオールナイト・イベント」

東京・新宿ミラノ座にて開催。庵野監督自らセレクトしたTV版13本上映のほか、トークショーや抽選会も行なわれた。

1997年 3月13日 「旧劇場版『シト新生』試写会」

東京、大阪、名古屋、札幌、福岡にて開催。

3月14日 「旧劇場版『シト新生』公開前夜祭」

新宿ミラノ座にて開催された旧劇場版の前夜祭。

3月26日~4月6日 「エヴァンゲリオンアートオブギャラリー」

船橋そごうにて開催されたセル画の展示会、および旧劇場版グッズの物販イベント。以後、札幌五番館西武など全国5箇所で開催された。

7月6~8日 「エヴァンゲリオン交響楽」

東京渋谷のBunkamuraオーチャードホールにて開催された新日本フィルハーモニー交響楽団によるコンサート。司会はエヴァの声優陣が日替わりで担当した。7月9日、14日には追加公演も行なわれている。

7月16日 「旧劇場版『THE END OF EVANGELION』試写会」

東京、大阪、名古屋、九州にて開催。

7月5日~20日 「新世紀エヴァンゲリオン 3D WORLD IN アムラックス」

池袋アムラックスで開催されたエヴァの立体物展示イベント。GKなどを利用したジオラマなどが展示された。

7月31日~8月5日 「新世紀エヴァンゲリオンフェスティバル」

大阪にて開催されたセル画の展示会、および旧劇場版グッズの物販イベント。夏の劇場版公開に合わせて開催された。

1998年 4月5日 「EVA-night」

渋谷ON AIR EASTにて開催されたLOREN&MASH来日公演。4月7日には「R&B-night」も行なわれた。

7月17日~8月3日 「庵野秀明の世界」

山口県宇部市の銀天街イベントギャラリーにて開催された庵野監督の個展。エヴァ以外にも「ラブ&ポップ」など庵野監督関わった様々な作品について展示が行なわれた。

2002年 10月5日~11月10日 「貞本義行の仕事展」

愛知県高浜市のかから美術館にて開催された貞本氏の個展。イラスト原画やマンガ原稿、さらに貞本氏が参加したアニメーション作品の資料やセル画などが展示された。

EVANGELION

CHRONICLE

28

目次 | CONTENTS

Mechanic Sheet メカニックシート

エヴァンゲリオン式号機 **C**

01-04

Character Sheet キャラクターシート

冬月コウゾウ **B**

05-08

Tactics Sheet タクティクスシート

葛城調査隊&国連セカンドインパクト調査団

09-10

Installation Sheet インストールシート

南極

11-12

Timeline Sheet タイムラインシート

リリスとの邂逅

13-16

Technology Sheet テクノロジーシート

遺伝子

17-18

Extra Sheet エクストラシート

用語辞典

19-22

放映リスト

23-24

トピックス

25-32

新世紀エヴァンゲリオン オフィシャルページ

エヴァンゲリオンのリアルタイム情報はこちらで!

PCサイト

▶ <http://www.gainax.co.jp/anime/eva/>

携帯サイト▶ <http://wpp.jp/eva/>

エヴァンゲリオン オフィシャルストア

▶ <http://www.evastore.jp/>



[発行日] 2010年8月17日

[発行] 株式会社デアゴスティーニ・ジャパン
〒104-0045

東京都中央区築地4-7-5 築地KYビル

[発行人] 小河原和世

[編集人] クロス中山慶子

[チーフエディター] 安部 翠

[印刷] 大日本印刷株式会社

©2010 K.K.DeAgostini Japan All rights reserved.

[編集協力] 株式会社ウィーブ (石川裕人/田代 豪/大久保圭/本多らな)

[監修] 株式会社ガイナックス

©GAINAX・カラー/Project Eva. ©GAINAX・カラー/EVA製作委員会

<オリジナル版>

[編集協力] 有限会社 メガロマニア(富田英樹/高村泰稔/渡邊洋三/
加藤和弘/山田展寛/桑木貴章/鈴木秀治/公森直樹)

[執筆] TRAP(佐々木まりな/西川紗矢)/ぼろり春草

[イラスト] 市川裕文/深野洋一(M.I.C.)/森下直親/大本海図/射尾卓弥

[デザイン] ローカル・サポート・デパートメント(島田英明/角田正明)

株式会社 インフォビジョン(河野幹哉/安川純史/田中治彦)

<新訂版>

[編集協力] スタジオ・ハードデラックス株式会社(伊藤桃香/米良真一)

[デザイン] スタジオ・ハードデラックス株式会社(松本優典)

●書店向け注文受付センター

(書店様からのご注文を承ります)

☎ 03-5212-5311

(月~金 9:30~17:30 土日祝日を除く)

FAX 03-5212-5312

●読者サービスセンター

(本誌関連の一般的な質問を承ります)

☎ 0570-008-109

(月~金 10:00~18:00 土日祝日を除く)

※本商品は2007年に刊行された「エヴァンゲリオン・クロニクル」
(発売:ソニー・マガジズ)に改訂を加えて刊行するものです。

本誌の最新情報をCheck!

PCからもケータイからも同じアドレスでアクセスできます。

<http://deagostini.jp/eva/>



定期購読のご案内

週刊「エヴァンゲリオン・クロニクル 新訂版」は、毎週火曜日発売です(一部地域を除く)。シリーズ全号が確実にお手元に届くように、書店を通じての定期購読をお勧めいたします。最寄の書店で、定期購読または予約購読をご用命ください。また、小社を通じての定期購読を希望される方は、次のいずれかの方法でお申し込みください。

1. 読者専用定期購読受付センターに電話またはFAXで

☎ 0120-300-851

(9:00~21:00 年中無休)

FAX 0120-834-353

(定期購読申し込み用紙をお送りください。24時間受付)

2. インターネットで

<http://deagostini.jp/eva/> (24時間受付)

※ケータイからも同じアドレスでアクセスできます。

3. 定期購読申し込み用紙を郵送

(「定期購読のお知らせ」がお手元がない場合は受付センターまでご連絡ください。)

特製バインダー発売中!!

週刊「エヴァンゲリオン・クロニクル 新訂版」は特製バインダー4冊に収まります。エヴァンゲリオン大百科を完成させるのに不可欠な特製バインダー2・3巻の2冊セットを通常価格1,790円(税込)で発売しております。お近くの書店でお求めください。

※4巻目のバインダーは第31号でプレゼントいたします。



下記弊社プライバシーポリシーに同意の上、お申し込みください。【個人情報のお取り扱いについて】 1. 個人情報の利用目的 商品の発送と連絡、各種情報・資料等のご案内を目的とします。 2. 第三者への個人情報の提供・開示等 法令の規定に基づいて司法・行政機関等からの情報開示の要請を受けた場合を除き、第三者に個人情報を提供・開示等することはありません。 3. 個人情報の委託と管理 弊社は注文の受け付けと確認、商品の配送、クレジットカード会社への確認と支払いの処理、代金収納専門企業による売り上げ代金の収納、データの分析、カスタマーサービスなどのために必要な範囲内で保有している個人情報を他社に委託しておりますが、契約等により委託先を厳重に管理いたします。 4. 個人情報の提供の任意性 個人情報を弊社に提供されるかどうかは、お客様の任意におまかせします。但しお申込フォームの項目に未記入部分があると手続きがとれない場合もあります。(購入に関するお問い合わせは定期購読受付センター:0120-300-851へ) 5. 個人情報に関する請求等のお問い合わせ窓口 デアゴスティーニ・ジャパンCRM部長 電話番号:03-5309-8286 *受付時間 10:00-18:00(土日祝日、弊社休業日を除く) *弊社ウェブサイトで個人情報保護の詳細をご覧ください。 <http://deagostini.jp/security/>



汎用人型決戦兵器
人造人間 エヴァンゲリオン

式
号機



A.P.ワールドの意味に目醒めたEVA



NERV

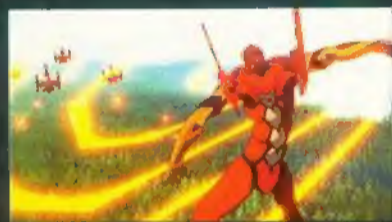
EVA-02

PRODUCTION MODEL

人造人間の真価を 垣間見せたEVA

EVA弐号機の安定したスペックを考慮しても、専属操縦者であるセカンドチルドレンの練度は、EVA初号機専属操縦者に遙かに勝る。しかしながら、その戦果は同機に及ばない。これは“暴走”現象——EVAの秘めたポテンシャルを引き出せなかったためであろう。機体と操縦者の精神的な結びつきが“人造人間”の性能を左右するという事実は、シンクロというかたちで証明されている。セカンドチルドレンはEVAを“機械”として見ていたため「機械であるEVAの性能」しか引き出せなかったものの、遅まきながらEVAに心を委ねることで、「人造人間としての性能」を引き出したのではないだろうか。そうであるとすれば弐号機は、暴走に頼らず、操縦者の技量によって本来のポテンシャルを発揮できた最初で最後のEVAであったといえよう。

死に直面した瞬間、弐号機に母のイメージを見たセカンドチルドレン。それをきっかけに彼女はEVAに心を開き、戦う意欲を取り戻す。



心身耗弱状態から復帰したセカンドチルドレンは、A.T.フィールドを攻撃手段として用い、戦略自衛隊の重戦闘機を一掃している。

1対9という戦力差を覆し、弐号機は圧倒的な戦闘力で量産機を蹴散らす。しかし、ロンギヌスの槍のコピーを受けて敗北を喫した。



DATA

機体: EVA-02 PRODUCTION MODEL

弐号機

搭乗者: 2nd Children

惣流・アスカ・ラングレー

主武装: WEAPON

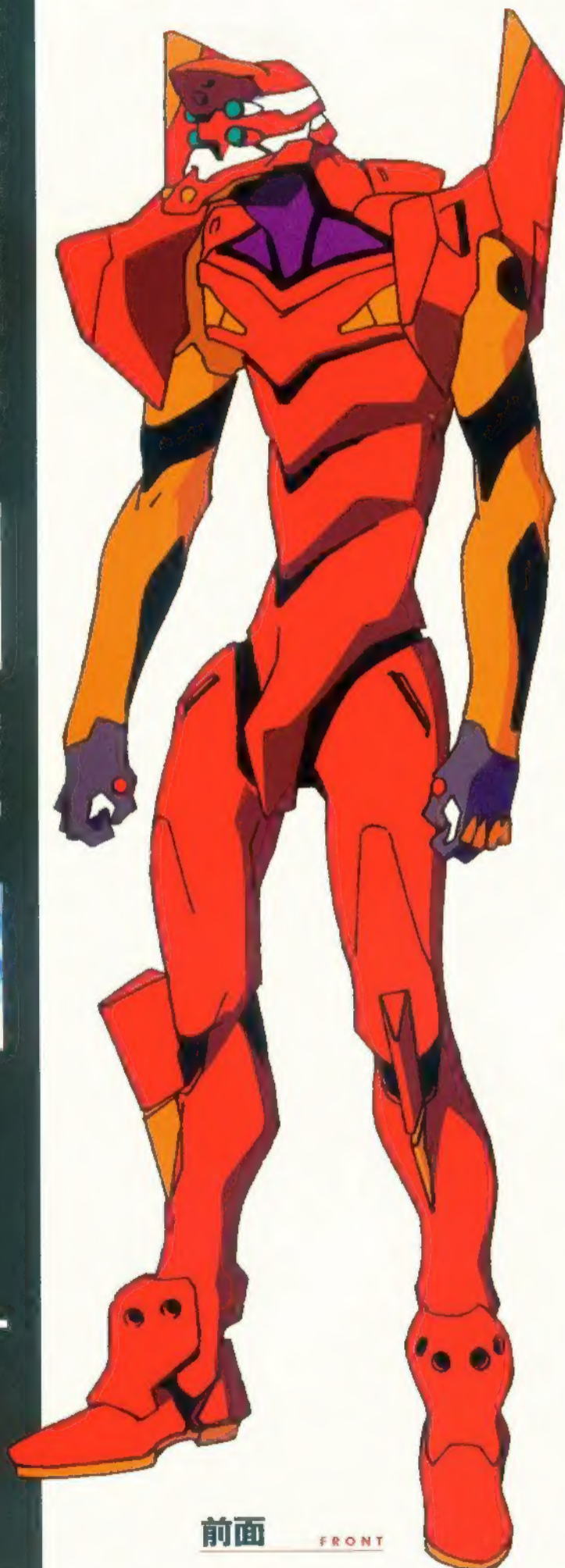
プログレッシブ・ナイフ(改)
ソニックグレイブ
スマッシュ・ホーク 等

機体配色: COLOR



負けてらんないのよオ!

(惣流・アスカ・ラングレー)



前面 FRONT



頭部 HEAD



背面 BACK

関連事項 RELATED MATTER

- 惣流・キョウコ・ツェパリン
- 惣流・アスカ・ラングレー
- 渚カヲル



アスカの実母。自らが提唱、実験台となった接触実験で重度の精神障害を負い、アスカを娘と認識できなくなってしまう。

改装された装甲

第17使徒タブリスに操られたため、初号機の手によって破壊された式号機。その修復の際に素体の部品交換（EVA量産機の部品の流用と推測されるが不明）も行なわれたと考えられ、新たな生体部品に合わせて装甲もまた改修されたと推測される。



←↓改装前の
頭部装甲

式号機のポテンシャルと拘束具

式号機もまた、EVAの秘めた性能を発揮している。その際、シンクロ率が上がるほどEVAの力は増大し、装甲の拘束が緩んだ（顔面装甲が開く）結果、素体本来の目が現れたと考えられる。



第6使徒ガギエル戦において操縦席ふたりの思考が一致。その際に過去最高のシンクロ率を発揮している。



大破しながらも、式号機はセカンドチルドレンの殺意に込めるかのように再起動し、暴走の兆候を見せた。



←装甲が開いた顔面部

式号機の使用兵器 — 銃火器 —

実弾系兵器

ミドルレンジの射撃戦において、劣化ウラン弾とロケット弾、2種の実弾兵器を用いていた式号機。第13使徒バルディエルに対しバズーカ、第14使徒ゼルエルに対しパレットライフルとハンドバズーカで挑んだ。だが、バルディエル戦では発砲前に敗北、ゼルエルには実弾が効かなかった。



ゼルエルに使われたパレットライフルだが、A.T.フィールドを中和しての2丁同時射撃ですら効果はなかった。



小型ロケット弾を連続発射できるハンドバズーカだが、ゼルエルには効かない。

↓バズーカ



ポジトロン系兵器

ポジトロン（陽電子）を弾頭に用いた高威力、長射程の兵器。実弾系を上回る性能を持つが、銃器自体は大型になってしまう。第7使徒イスラフェルに対しポジトロンライフル、第15使徒アラエルに対しポジトロン20Xライフルで挑んだ。しかし、アラエル戦では衛星軌道上の目標に届くことはなかった。



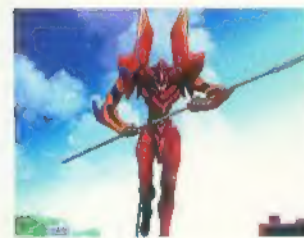
ポジトロン20Xライフルには、エクステンションバレルと望遠スコープが装着。

↓ポジトロン20Xライフル



式号機の使用兵器 — 格闘武器 —

刃部分に高振動粒子を用いた格闘武器は使徒に対し最も有効であり、使徒殲滅の実績を積み重ねた武装である。中でも式号機は、扱い方がそれぞれ異なる3種類の得物を用いていることから、操縦者が各武器に精通していることが分かるだろう。



一刀でイスラフェルを両断した長柄の薙刀ソニックグレイブ。EVAが持つ格闘武器の中でもリーチは最大。



武器自体の質量で威力を高めた斧スマッシュ・ホークだが、単なる踏み台として使われた不遇の武器である。

↑ソニックグレイブ



↑スマッシュ・ホーク

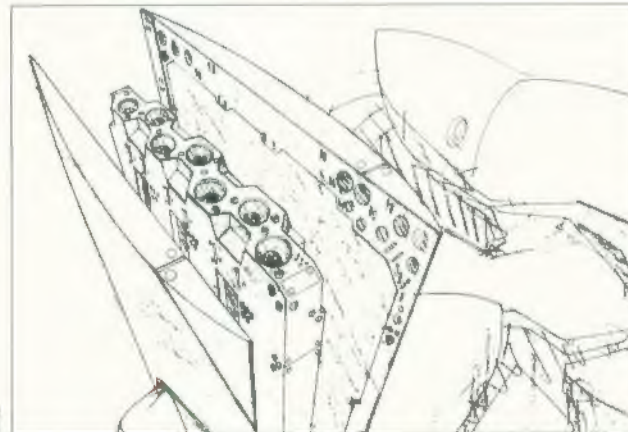
式号機の内蔵兵装 — 特殊兵器 —

針状の弾丸を射出する特殊な飛び道具。発射口は7つあり、最低でも2連射が可能である。右の肩部パイロンにあるマルチプル・ウェポン・ベイに搭載され、量産機との戦闘において使用された。近接戦闘での使用を前提にした隠し武器。



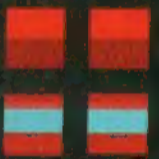
もみ合いになった際に量産機の頭部へ超至近距離で撃ち込み、活動不能に追い込んだ。発射装置の本体は可動式だと考えられる。

→ニードル発射装置





碇夫妻の
傍らに立ち



NERV

冬月コウゾウ

KOUZOU FUYUTSUKI

すべてを

見届けた男



【個人情報】

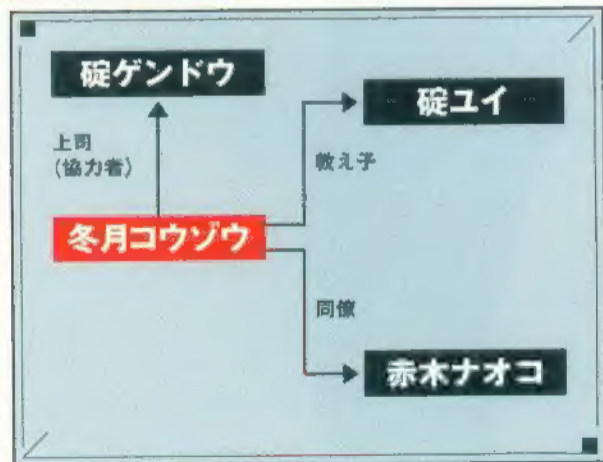
名前	冬月コウゾウ
年齢	60歳
国籍	日本
生年月日	A.D.1956/04/09
血液型	AB型
所属	NERV/副司令官

最高司令官の側で、執事のごとく静かに佇む腹心——冬月コウゾウとはそういう男である。NERV内でも最年長の部類に入るだろう冬月は、ひと回りも年下の碓ゲンドウを補佐する役割を担っている。

開発中であった零号機をゲンドウに見せられて以来、冬月はゲンドウと共に人類の新たな歴史の創成に人生をかけてきた。しかし、真に零号機が存在がゲヒルン入所の決定打になったかは明確ではなく、ゲンドウに付き従う理由には謎が残る。それでも彼は、人類補完計画を始めとする、ほぼすべての情報をゲンドウと共有するという重要なポストを長年務めあげてきた。上司と部下という関係を超え、最高司令官と対等な会話ができるNERV唯一の人物という、無二の役割を冬月は持っているのだろう。

冬月のパーソナリティを考えると、セカンドインパクトの真相を暴こうとした点や闇医者として一般市民を助けていた点などから、正義感や使命感の強い人物であることが窺える。当初はゲンドウやゲヒルンを毛嫌いしていたようではあるが、その使命感がE計画へと向いたことで、大きな推進力となったことは想像に難くない。また、ゲンドウと同様に感情を表出しないためか腹の底では何を考えているか判らないという雰囲気があり、ゲンドウとの会話中に詰将棋を楽しむなど、趣味を持つような余裕も持ち合わせている。感情を抑えているのはその立場のためなのか、それとも本来の性質ゆえかは定かではないものの、ユイと会話する時だけは幾分表情が豊かになっていたようだ。

人物相関図



関連事項

- 碓ユイ
- 碓ゲンドウ
- NERV
- ゼーレ



碓ゲンドウの妻となった才能ある遺伝子工学者。初号機を用いた接触実験中の事故により遭らぬ人となっている。

表情



←教授という肩書きゆえか、品のある紳士的な空気を漂わせている冬月。ゲンドウのような威圧感はないが、その容貌には年長者の貴様がある。



厳格なトップと、温厚なナンバーツー。その好対照な2人の構図により、NERVという組織のバランスが保たれているようだ。



→非常に線が細い印象を与える冬月。年齢のせいもあるとはいえ、頬がこけて多少不健康そうにも見える。



↑落ち着いた表情の中にも、強い意志が感じられる。その温和さの裏には、ゲンドウとはひと味違う鋭さが隠されているようだ。

私服

正面



背面



↓NERVの制服や白衣姿に比べると、年相応の渋みが出ているハイキング時の姿。スーツと同じく、比較的地味な色の服を好むようだ。

正面



背面



冬月コウゾウ の活動記録



←↓きちんと撫で付けられた髪型は、教授時代からのトレードマークであったようだ。その当時、すでに40代半ばであった冬月だが、その表情は同年代の男性と比較して若々しく見える。



←↓かつては形而上生物学の研究者として教鞭を振っていた冬月。着慣れた様子の白衣姿が、実に様になっている。その落ち着いた佇まいは、闇医者としての活動にもひと役買ったものと思われる。

京都大学の教授という名誉ある立場にあった冬月。彼が特務機関NERVの副司令官という、いささか不似合いな役職へと転身するきっかけとなったのは、碓ユイ、そして六分儀ゲンドウとの出会いであった。教授時代のふたりへの関わりはさほど深いものではなかったようだが、セカンドインパクト後、ゲヒルンへの入所によって彼の進む道は決定付けられたと言っていい。未曾有の災害——セカンドインパクトの真実を告発するのではなく、共に秘密を共有する道を選んだ冬月は様々な計画を推し進め、15年ぶりの使徒襲来にもゲンドウと協力して対応。その後はゲンドウに最も近い存在として、人類補完計画発動までNERVの運営にあたった。

ユイに対しては特別な感情を抱いていた様子があり、ユイの方も冬月を尊敬の眼差しで見ているようである。シンジがまだ幼い頃、おそらくゲンドウも知り得なかっただろう、ユイのE計画に対する思いを聞き、冬月は一定の理解を示していた。推測ではあるが、ゲンドウだけでユイのいないゲヒルンであれば、冬月の進む道は変わっていたのかもしれない。



港に停泊している船中で、「医者らしい事」をしていた冬月。散乱する道具類から、彼が専門外の医療を懸命に行っていたことが見てとれる。



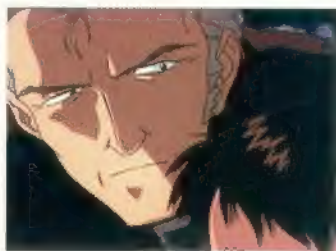
冬月を捕らえることがNERVへの打撃になるとゼーレは考えたようだ。この時冬月は、皮肉をこめて「冬月先生」と呼ばれている。

ゼーレに対し、基本的にゲンドウと同様に従順な素振りを見せておくというスタンスを保っていた冬月。ただし、ゼーレの存在をあからさまに蔑ろにした行動に走りがちのゲンドウを、ある程度は抑制しようと試みている節もある。事あるごとにゼーレへの対応に苦慮するその姿から、彼がゼーレを「恐れるべき厄介な存在」と捉えている様が浮かび上がってくる。そのためか、立場としてはゲンドウ側ではあるものの、建前上は中道派といったような印象もある。一方、ゼーレは冬月を重んじているように見受けられる。これは、冬月がゲンドウの目付け役といった役割を果たしていたためだろう。



との関係

人類補完計画 における役割



ロンギヌスの槍を使う決断をしたゲンドウを焦りながら謀めている。たとえ聞き入れられずとも、ストッパーとして彼が必要な存在である。

EVAに関する指示を出すことはほとんどない。ただし、戦況の俯瞰やNERV本部の危機管理など、人類補完計画の大略において大きな役割を果たしていた。



ゲンドウが構想する人類補完計画において、アダム、リリス、レイは必要不可欠なものであった。アダムをその身に宿し、レイを介してリリスとの融合を図ったいわば計画実行役のゲンドウに対し、冬月は常にサポート役に徹している印象がある。しかし、使徒殲滅やゼーレに計画の真意を気づかせないということも重要な計画の一部であり、冬月は計画を滞りなく発動させるための基盤作りを担っていた。ユイという一点だけを見つめる最高司令官に対し、副司令官として包括的にNERV内外の状況を読んでいた冬月。発動時というよりも、そこに至るまでの過程において、彼の功績は大きかったといえるだろう。

人類補完計画

進行時の行動



冬月が計画発動によって起こる具体的な事象をどこまで把握していたかは定かではないが、異常事態でも彼は冷静を保っているように見える。



「冬月先生、後を頼みます」と言ったゲンドウに、「ユイ君によろしくな」と応えた冬月。それが、ふたりの最後の会話となった。

戦略自衛隊によるNERV本部強制接収を受け、ゲンドウはレイを伴ってリリスの元へと向かった。ゲンドウから後を任された冬月は、侵攻してくる戦自への対応を指揮しつつ、人類補完計画が進行していくさまを目撃することになる。初号機が上空へと拘引された後、冬月自身は部下たちと共に状況を見守るという行動しか取っていない。しかし、その場で人類補完計画の真実を知る者は冬月だけであり、初号機が依代となることにもすぐに気づいた彼だけが、状況を正確に把握できていたといえるだろう。最後にユイが現れるまでの間、自らが支え続けてきた計画の発動を、冬月はその目で見つめ続けていた。



「妻があなたのファン」だというゲンドウ。ユイ直筆のメッセージが入ったハガキからは、冬月のことを案じていた様子が窺える。

京都大学の教授と学生として出会った、冬月とユイ。形而上生物学を専門分野とする冬月にとってユイの書いた論文は、興味を抱くに十分な内容であったようだ。ゲンドウに対しては「イヤな男」という印象を持っていた冬月だが、ユイのことは好ましく思っていたようであり、当時は共にハイキングに出かけるなど近い仲だったことが伺える。また、セカンドインパクトの裏で暗躍するゲンドウ——そこに繋がるユイとゼーレの関係を確信した際、冬月は嫌悪ではなく戸惑う様子を見せた。どんなに闇の核心に居たとしても、冬月の中でユイとはイノセントな存在のままであったのかもしれない。

碇ユイとの関係

碇ゲンドウとの関係



ゲンドウが冬月をゲヒルンへ誘い入れる時、呼称が「冬月教授」から「冬月」へと変化した。この瞬間から、冬月はゲンドウの同志となった。



ゲンドウの作戦に苦言を呈する冬月。進言は一蹴されるか対策済みであると返される場合が多いが、ゲンドウの性格は十分理解しているようだ。

セカンドインパクト後、無免許医として活動していた冬月を南極への調査隊に推薦して以来、ゲンドウは冬月を重用してきた。ゲヒルン時代も幹部として運営を支えていたが、ユイ消失後からは特に「ゲンドウの側近」的な意味合いが強まっている。また、人類補完計画の真の目的を理解する存在として、NERVにおけるふたりの関係には、共犯者のような側面もあったようだ。しかし、冬月は友情や好意ゆえにゲンドウを支えているという様子はなく、ゲンドウもまた、冬月の進言をそのまま受け入れることは少ない。あくまで思想あるいは利害が一致した上の協力関係であったのかもしれない。



他のNERV職員とは異なり、最初から笑みを浮かべて補完の時を迎えた冬月。彼がその結末を知り、なおかつ望んでいたことの証左であろう。



まるで天使のように空から降りてくるユイを迎え、L.C.L.と化していった冬月。ゲンドウの最期に比べると、より幸福であるように見える。

初号機を依代とした人類補完計画が発動し、次々とL.C.L.に溶け込んでいく人間たちが最期に見るもの。それは、自らが愛しく思っている人の姿だったと推測される。冬月の前に現れたのは、かつてゲヒルンで共に在った頃の碇ユイだった。ゲンドウの妻であり、元教え子でもある彼女に対して冬月が抱いていた感情が、友愛であったのか愛情であったのかは定かではない。しかし、ゲンドウが「ユイに再び会う」という目的のために進めてきた人類補完計画とは、同時に冬月の望みであったのかもしれない。ユイとの邂逅によってその表情からは陰が消え、彼はどこか満足そうな様子でL.C.L.へと化していった。

最期の瞬間に見たもの

タクティクスシート

actics Sheet

葛城調査隊&国連セカンドインパクト調査団

Sheet

01

KATSURAGI RESEARCH TEAM AND UN INVESTIGATION TEAM OF THE SECOND IMPACT

Illustration by Naohiko Morishita



2002年に国連が南極圏へと派遣したセカンドインパクト調査団。地獄絵図のような世界へと変貌した南極を見て、驚きの声を上げるメンバーも多かったという。この調査隊には国連(つまりゼーレ)関係者のみならず、民間からも有識者が招聘された。ゼーレ側の人間として碓ゲンドウが、そして、民間の科学者のひとりとして冬月コウゾウも参加。奇しくも、このふたりは、のちのNERV総司令官と副司令となっている。

ゼーレによって隠蔽された セカンドインパクトの要因

2000年9月13日、人類史上最大の厄災であるセカンドインパクトが発生。この大災害の原因は、亜光速で激突した大質量隕石とされている。しかし、この情報はあくまでも国連発表のものであり、真相は秘密結社ゼーレによって葬りさらされた。

セカンドインパクト発生当時、南極にて葛城調査隊と呼ばれる特別調査チームが研究活動を行っていたことは、知る人ぞ知る事実である。調査隊を率いた葛城博士は、1999年に「S²機関の基礎理論」を発表しており、彼らの活動目的はこのS²機関の研究開発であった。また、葛城調査隊の実験は、1999年には南極大陸の地底にて発見された巨大なヒト型生命体=アダムを基に行なわれ、さらにロンギヌスの槍をも用いられていたとされる。2015年時には、NERV本部内にて隠匿されていたアダム(のちにリリースと判明)の成長をロン

ギヌスの槍によって抑制していたと推定されていることから、葛城調査隊の実験においても、ロンギヌスの槍は何らかの形でアダム(すなわちS²機関)の活動を制御する目的で使用されたとするのが妥当であろう。しかし、その制御に失敗したことでS²機関が暴走——結果、発生した大爆発こそセカンドインパクトであったようだ。つまり、この地球規模の大災害は人災であったといえよう。さらに言及すれば、この葛城調査隊を組織した国連の背後には、ゼーレの影があった。事実、葛城調査隊にはゼーレから人材が派遣されており、キール・ローレンツ、碓ゲンドウらの名前が当時の記録の中で確認できる。そして、彼らがセカンドインパクト直前にS²機関のデータと共に帰国していることは、ゼーレがセカンドインパクトの発生を予期していた、もしくは意図的に発生させた可能性すら推測させるのである。

そして、2002年、国連はセカンドインパクトの原因究明のため、新たな調査隊を南極圏へと派遣

する。この調査隊は、ゼーレのメンバーを中心に民間の有識者を加えて構成。葛城調査隊のS²機関実験との関係性の側面からも調査がなされたと思われる(当然、民間のメンバーには、事実は隠されていたようだ)。しかし、その調査結果として国連が結論づけたのは、先に述べた「隕石の衝突」であった。当然、アダムの存在やS²機関との関係性といった事実は伏せられ、セカンドインパクトの真実は闇に葬り去られた。しかし、いずれにせよ葛城調査隊、セカンドインパクト調査団、共にゼーレが関与しており、彼らの手元に残った葛城調査隊の実験データは、E計画——アダム再生計画へと引き継がれていくこととなるのである。

- 南極
- 葛城調査隊
- セカンドインパクト
- ゼーレ
- アダム



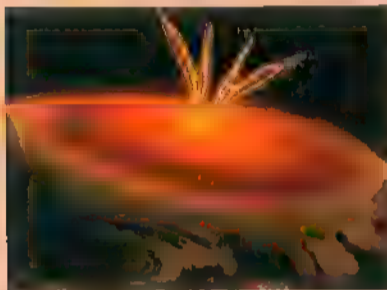
セカンドインパクトは、南極大陸を消し去り、地球規模の大災害となった。災害後南極圏は生物のいない死の海と化した。

タクティクスシート
actics Sheet

葛城調査隊&国連セカンドインパクト調査団

セカンドインパクト発生日、南極大陸の国連基地に駐在していた葛城調査隊。葛城博士自らが提唱するS²理論に基づく永久機関の研究実験を行なうため、国連によって結成された研究チームであるが、その派遣にはゼーレが深く関与していた

葛城調査隊が当時行っていた研究はS²機関の開発と言われるが、その内実は南極地下の大空洞で発見されたアダムの活動システムの解明であったとされる。現存するわずかな記録によれば、アダムへのヒト遺伝子ダイブやA.T.フィールドに関する検証などの実験がなされていたようである。そして2000年9月13日、ロンギヌスの槍を用いた実験が行なわれたらしいが、ここでアダムそのものがエネルギー暴走のような状態となり、巨大な爆発——セカンドインパクトを引き起こしたと考えられている。



南極で発生したセカンドインパクト。大質量隕石の衝突と結論づけられているが、実際はアダム、もしくはS²機関の暴走と思われ、その爆心地では大気圏外まで突き抜ける巨大な羽が目撃されている

目的と主要メンバー

葛城調査隊は「S²機関の研究」をメインとしつつも、実際はゼーレによって発見されたアダムに関係したプロジェクトを推進していたようだ。アダムの活動システムから理論にマッチしていたことも、提唱者の葛城博士が派遣された要因であろう。調査隊にはゼーレのメンバーであり、のちに人類補完委員会の議長となるキール・ローレンツやNERV司令官となる碓（当時は六分儀）ゲンドウも加わっていた。また、いかなる理由からか当時まだ13歳であった葛城博士の実子、葛城ミサトも調査団に参加しており、災害時の南極の唯一の生き残りとなっている。



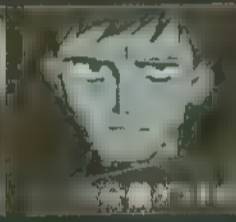
セカンドインパクト発直前に目撃された「光の巨人」。これがアダムそのものかどうかは不明だが、この巨人の引き起こしたエネルギー暴走がセカンドインパクトの真実であるらしい

葛城調査隊による実験が行なわれていた国連南極基地。実験施設は基地地下のターミナルドグマと呼ばれるエリアにあったようだが、具体的な資料はほとんど公開されていない



KEY PERSON

葛城博士と娘のほが、ゼーレの関係者も参加。発火はゼーレ関係者が災害発生直前に誘発したため、危機を逃れた。



国連セカンドインパクト調査団

セカンドインパクトによって人類の文明は、大打撃を受けた。しかし、その結果、皮肉にも人類は初めて国連を主幹とした統一的な体勢へシフトすることとなる。この調査団は、そのような情勢の中で派遣された。だが実際には、この調査団はゼーレの肝煎りで結成された節がある。内部資料において、その原因は爆発直前に出現した「光の巨人」の暴走とされていたようだが、この調査報告は一切公表されず、これとは別個に一般に知られる「隕石衝突説」が国連の声明として報じられた。



セカンドインパクト調査団の帰国後、全世界に向けて国連より発表されたその原因は、「隕石衝突説」であった。しかしこの発表は、社会不安を考慮した情報操作の結果でもあった

セカンドインパクト発生から2年後の2002年、国連により原因究明のための調査団が南極へ派遣された。異形の世界に豹変した南極圏の様相も、この調査団によって、初めて世間へと報告されている。

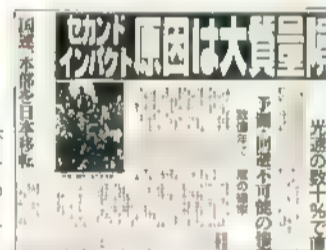
目的と主要メンバー

セカンドインパクトの調査団は、ゼーレのメンバーを中心に、外部からも著名な科学者を招聘して結成された。その目的はセカンドインパクトの原因調査にあるが、ゼーレの関与を鑑みれば、顔面通りの原因究明ではなく、暴走したアダムの事後検証や可能な限りのマテリアルの回収なども含まれていたと思われる。この調査団にも、葛城調査隊に同行していた碓ゲンドウだけでなく、のちにNERV副司令を務める冬月コウゾウも外部（民間）の科学者メンバーとして参加。セカンドインパクトの真実を垣間見ている。



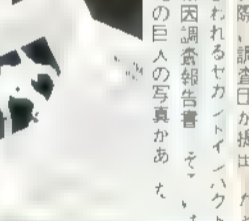
「隕石衝突説」は新聞など様々な媒体を通して大々的に報じられた。ゼーレは原因を元々知っており、これは予め用意されていたシナリオであったと考える向きもある

セカンドインパクト調査団として招聘された冬月コウゾウ。善巧しい赤紫、変貌した南極圏を目の当たりにする。冬月は民間からのメンバーだが、のちに、災害の真相を独自につきとめるのであった



KEY PERSON

碓ゲンドウだけでなく、彼と旧知の冬月コウゾウも参加。のちにふたりのE計画へと関わることとなる。



特記事項

セカンドインパクト調査団後の碓ゲンドウ

セカンドインパクト発生から帰国後、碓ゲンドウは国連南極の人工進化研究所の所長に就任する。しかし、この研究所の実体はゼーレの研究機関であるがヒルシの隠れ裏であり、その内幕も当然ゼーレが関与していたと考えられる。また、冬月コウゾウも碓ゲンドウの隠いにより研究所の所長と噂までがヒルシ入り（ただし、当初はゼーレに対し批判的だったようだ）。そしてこの時期には、すでにエヴァンゲリオン推進計画＝E計画が始動しており、現在のNERVの基礎は本所を構築されたいかと考えられる。



ゼーレに所属していた碓ゲンドウは、人工進化研究所所長を経て、NERV副司令官と歩いている。→葛城調査隊やセカンドインパクト調査団にも同行していた碓ゲンドウも、当時もゼーレにおける重要な役割者であったようだ。



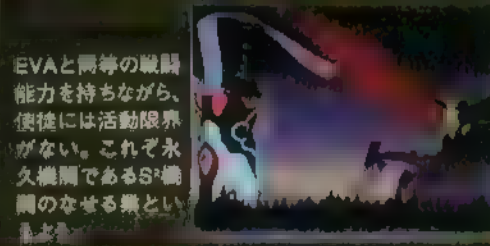
技術調査

S²機関と使徒

葛城博士が提唱したS²理論に基づく永久機関——その存在は皮肉にもアダムを含めた使徒によって裏切られた。動力を力場であるA.T.フィールドや驚異的な本体の再生還元など、使徒の能力を支える無尽蔵のエネルギーの発生源は、影響を及ぼすことは説明できないものだった。のちS²機関とされる使徒のコアが、NERVによって第4使徒シャルルティルより回収された。以後、このS²機関を基に復元、および研究が続けられ、ついにEVA量産機にて実用化へとたどり着くのであった。



第4使徒の直撃を受けた直後の第3使徒サキエル。しかし、A.T.フィールドを展開することによって威力を削減、暴走を抑制した



EVAと同等の戦闘能力を持ちながら、使徒には活動限界がない。これぞ永久機関であるS²機関のなせる業といえる

南極

不毛の世界であるセカンドインパクト発生の地

未曾有の大災厄セカンドインパクト発生の地となった南極。だがセカンドインパクト以前においては、南極は一般には、ほとんどが氷雪気候地帯という極寒の大陸を意味していた。人類が南極大陸に足を踏み入れたのは18世紀以降であるが、そこは人間の生存には甚だ適さない場所であった。だが20世紀に入ると領有権問題が表面化。科学が進歩した20世紀中盤以降は人間の定住も不可能ではなくなったため、1961年に南極条約が採択され、以降南極における領土問題は凍結。その活動も純粋な平和目的に基づく科学調査に限られることとなった。これは海洋資源も絡む領土的な問題のみならず、南極大陸自体の地質学的な資源についても不可侵とすることで、国際的な利害を調整した形であるといえよう。その結果、各国はこぞって南極に科学調査基地を設営し、多くの人材を長期派遣していた。

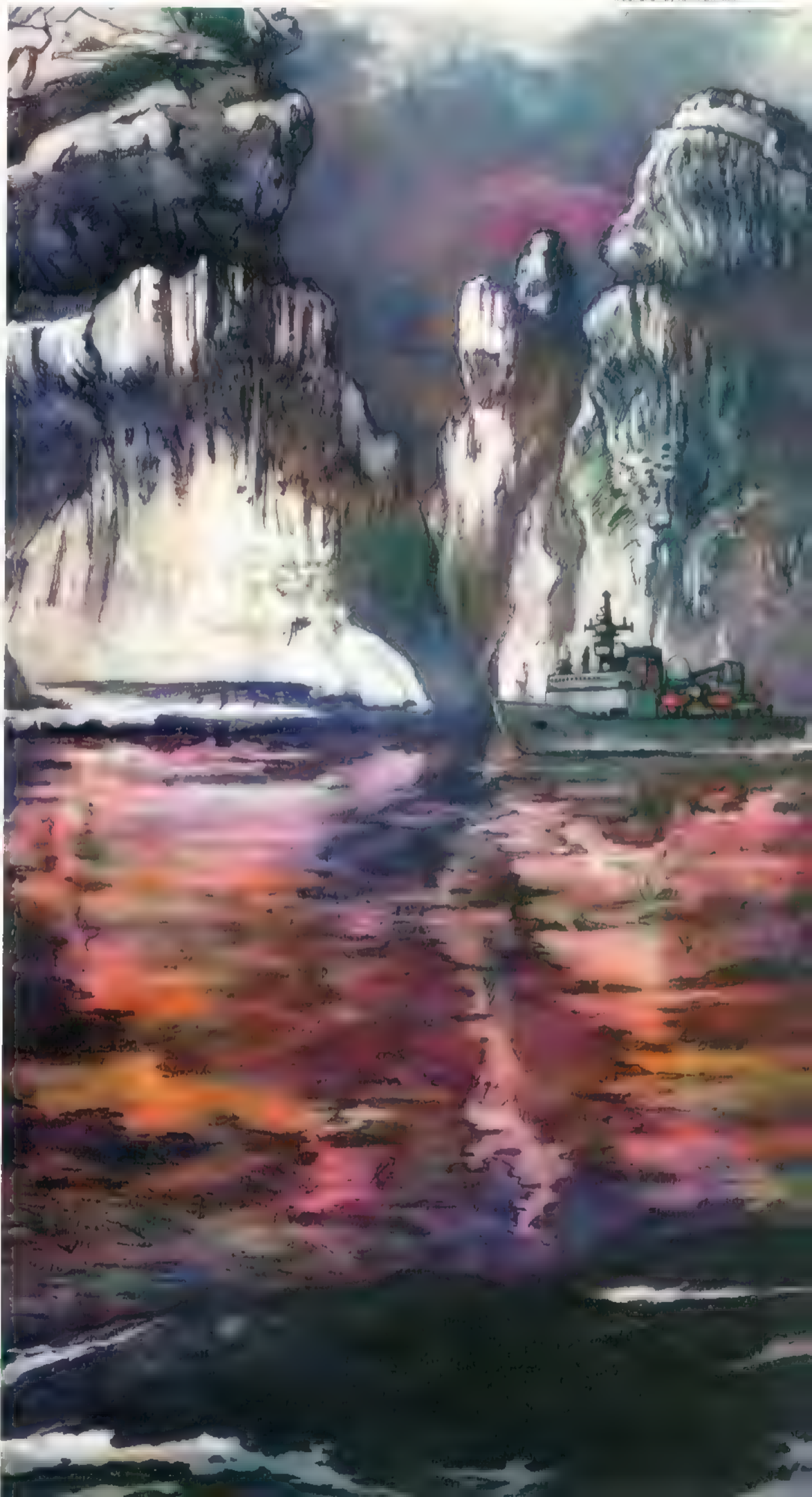
1999年、各国の科学調査の舞台としてのピークを迎えた南極大陸。その地底にて、秘密結社ゼーレが巨大な空洞を発見。さらに翌2000年には国連南極基地に、葛城博士によるS²（スーパーソレノイド）理論に関する実験調査チーム、いわゆる葛城調査隊が派遣され、その活動を開始したのであった。何故、葛城調査隊が南極にてS²理論の実験を行なうに至ったかの詳細は不明だが、その南極地底の大空洞にて発見されたアダムと称される謎の生命体との関連性を指摘する向きもある。だが、その年の9月13日に不幸にもセカンドインパクトが発生。この爆発によって、膨大な氷の融解のみならず南極大陸そのものも消滅してしまった。以降、南極はその環境が一変。南極圏の海域は赤黒く変色し、あらゆる生物が生存不可能とされる真の不毛の世界——死海に変貌。2015年においては、継続的な科学的調査や資源調査などは行なわれていない。



- アダム
- セカンドインパクト
- 葛城調査隊
- ゼーレ

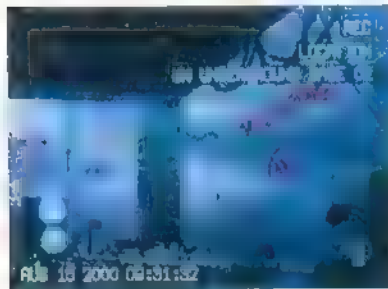


南極大陸地底で発見されたとされる生命体。使徒の始原とも言われる存在だがセカンドインパクト発生時に四散した



金土が分厚い氷に覆われた 人跡未踏の極寒の大陸

セカンドインパクト以前の南極は、極寒の大陸でありつつも世界各国が基地を設営し、科学的な調査を長期的に継続して行っていた。生活圏には適さない場所ではあるが、好奇心旺盛な人類にとって南極は知的興味の対象として広く認知されていた。1999年の大空洞の発見には「裏死海文書」を所有するゼーレが関与しているため、その発見の経緯や詳細な場所に関しては不明な状況となっているが、地質学的に大きな意味を持つものであった。またアダムも同時期に発見されており、生物学的に貴重な発見もあったことになる。だが2000年のセカンドインパクトにより、すべては失われたのであった。



セカンドインパクト発生
の1ヶ月程前に撮影され
た 国連南極基地の様
子を映した貴重な記録
映像。セカンドインパ
クト以前の南極ではこ
うした科学調査基地が
大陸各地に多数建造
され、稼働していた。

特異な大陸である南極 その有り様と変遷

南極大陸が他の大陸から完全に分離し急激に寒冷化したのは約3000万年前と考えられてきた。1999年に発見された大空洞は、大陸が氷に覆われる以前にできたものと思われる

かつては研究対象の宝庫であった南極。人類は多数の基地を建設し調査観測を続けていた。そうした中で、大陸の地底にて大空洞は発見されたのである。

が、同時期に発見されたとと思われるアダムと共に存在は極秘とされた。これらと葛城調査隊、ひいてはセカンドインパクトとの因果関係も取り沙汰されているが事実不明

●大陸図と氷解前後の主な出来事



セカンドインパクトは、公式には南極を二分する南極横断山脈にあるマーマム山付近へ微小な隕石が衝突したためとされている。だが大陸が消失してしまったため、詳細な極心地については不明である。なお南極半島は南極唯一の「インド洋気候地帯で、比較的温暖な地域であった。

1999年	地底に巨大空洞を発見
1999年	葛城調査隊が活動を開始
1999年12月	調査隊の一部の人間が帰国
1999年12月	セカンドインパクトが発生
1999年12月	国連南極調査団の派遣

あらゆる生命の存在を拒む 赤黒い海洋の世界

セカンドインパクトによって南極大陸は消失し、その融解した氷により地球の海面は数10m以上上昇した。一方、完全な海原と化した南極圏であるが、その海水は毒々しいまでの赤黒い色に変色。生物の生存環境に適していないことから、成分自体も変容したものと推察される。また洋上には巨大な塩の柱が林立。上空も絶えずオーロラが異様な光を放つなど、地球の既知的なランドスケープとはまったく異なる、不気味な世界が広がる“死の世界”となってしまった。

特記事項

ロンギヌスの槍について

ゼーレの手によって発掘されたロンギヌスの槍は南極調査基地に持ち込まれていたが、セカンドインパクトにより行方不明とされていた。しかし2015年にNERV最高司令官が見守る中、南極で回収作業が行われ、NERV本部に搬入。ターミナルドグマ内のアダム(後にクリスと判明)に突き立てるといって保管されていた。実は始源の存在の活動を抑制していたと見る向きもある。かつて南極国連基地に持ち込まれたのは、アダム関連実験の失敗だった可能性も指摘されている。



最大の発見物の槍、ロンギヌスの槍。本物の用途は不明だが、無傷のまま南極より回収され、後に乾電池の充電のためEVA専用機によって兵隊として用いられる。

死海とも形容される 2015年における南極

海水面上昇、地軸のずれなどにより大きく姿を変えたセカンドインパクト後の地球だが、中でももっとも激しく変化したのが、この南極圏である。

セカンドインパクト後の南極 その異形の世界が初めて明らかになったのは、2002年にその原因調査のために国連が派遣したセカンドインパクト調査団の報告によってであった。水質の変化した赤黒い海水、随所にそそり立つ巨大な塩柱

●セカンドインパクト後の南極

地球上とは思えぬほど奇異なランドスケープとなった南極圏は、その景観に違わずいかなる生物の生存をも許さぬ不毛の地となった。だが、この異常環境が低緯度地帯に広がらなかったことは、不幸中の幸いであると言わざるを得ない。



など、まさに「地獄絵図」を思わせる世界となっていたのである。一般的にはセカンドインパクトの結果による変容とされているが、具体的に何が原因となってこのような環境変化が起こったのかは、判然としていない。



調査団に加わり、変貌した南極を目の当たりにした冬月。後、再度南極を訪れた際、その有様に「地獄といふべきかな」と、皮膚を濡らした。

ロンギヌスの槍を回収するため、再び南極を訪れることになったナケントウと冬月。南極の景観は大きく変わったものの、槍自体は損傷はなかった。



追加報告

ジオフロントと南極の関連性

南極大陸の地底にて発見された巨大空洞であるが、セカンドインパクト後にこれと似た巨大空洞が日本の箱根、芦ノ湖付近(後の第3新東京市)の大深度地下にて発見されている。この巨大空洞は完全な球体を呈しており、発見時その内部が燃焼していた。このような形状の空洞は、自然に形成されるとは考えにくく、非公式ながら人智を超えた存在により作り出されたのではないかと考察もなされている。この巨大空洞はその後ジオフロントと呼ばれるようになり、その巨大空洞を利用してNERV本部施設が建設されている。また、NERV本部の最深度部分に位置するターミナルドグマには南極にて発見されたアダムとされる巨人が秘匿されていた。また、当該エリア周辺には何故か、現在の南極の状況を再現したかのような空間が造られており、南極の環境、アダム及び南極の巨大空洞との何らかの関係性を窺わせる。



ジオフロント内で建設中のNERV本部施設群。2003年頃の様子と思われる。従ってジオフロントの発見自体も、これよりも多少遅ると考えられる。

ターミナルドグマ内に設置されている、2015年の南極の環境を再現したかのような空間。その理由は不明であるが、アダムと関係性があるものと思われる。



新世紀年表

新世紀年表
EVANGELION CHRONICLE

第三十九話 リリスとの邂逅

KNOCKIN' ON HEAVEN'S DOOR

このページには、本誌に掲載された記事の目録が記載されています。各記事のタイトルと掲載ページ番号がリストアップされています。また、各記事の簡単な内容説明も記載されています。この目録を参照することで、読者自身が興味のある記事を探し出すことができます。

A.D.2015

●NERV本部

01 ゲンドウ、初号機と対峙

碓ゲンドウは、ケイン内に固定された初号機の前に人知れず立ち、独りごちていた。「我々に与えられた時間は、もう残り少ない。だが、我らの願いを妨げるロンギヌスの槍はすでにないのだ」まるで初号機に向かって語りかけているかのようなゲンドウの表情には、いつもの厳しい冷たさはなく、あくまでも穏やかであった。「間もなく最後の使徒が現われる。それを消せば願いが叶う。……もうすぐだよ。ユイ」すべてを見通しているかのようなその言葉は、いったい何を意味しているのだろうか？



初号機の前、ユイのゲンドウ。その右掌には、不気味な物体が移植されていた。



誰もいない初号機のケイン内、たまたまゲンドウ。その姿は、兵器に向かっというよりも、心を持った人間、相対しているかのような雰囲気があった。そして初号機に向かい、なぜかユイの名を口にするのであった。

A.D.2015

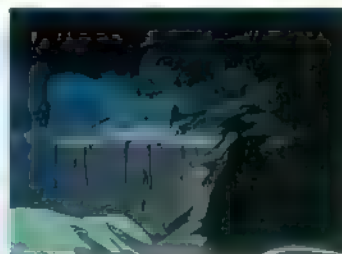
●NERV本部

04 シンジ、カヲルの部屋に泊まる

ミサトがペンペンとの別れを惜んでいる頃、NERV本部内では、シンジがカヲルの部屋で枕を並べていた。「君は何を話したいんだい？」おもむろにカヲルは言った。「僕に話したいことがあるんだろう？」促されるまま、とりとめなく昔の話や自身の気持ちを話し始めるシンジだが、自分でもその理由は分らない。話を聞いたカヲルはシンジの目を見て言った。「僕は君に会うために生まれてきたのかもしれない」押し入れのような狭い部屋。だがカヲルを間近に感じるその狭さには、今のシンジはむしろ安心感を覚える。



本部内、あくがわれた狭いカヲルの部屋で、枕を並べて寝るシンジとカヲル。



他人とは距離を置きたがってきたシンジだが、カヲルにだけはなぜか心を開き、自身の想いを語り始める。そんな瞬間、2人の目合い、シンジは一瞬トキレしてしまふ。そんなシンジ、カヲルは柔和な表情を見せた。

2015年

ゲンドウ、初号機と対峙

レイ、自問自答をくり返す

ミサト、ペンペンに別れを告げる



●第3新東京市

A.D.2015

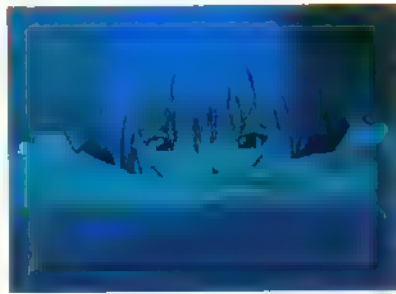
02 レイ、自問自答をくり返す

レイは改めて、自分自身の存在について問う「私、なぜここにいるの？私、なぜまた生きてるの？」誰もいない真っ暗な自宅の部屋で、綾波レイは自分自身について思いを巡らせていた。「何のために……？誰のために……？」答えは見つからない。そしてフィフスの少年、カヲルへの疑問へと考えが移る



消灯されたレイの部屋。無機質な彼女の部屋は月明かりが光り輝く。

まるで己のアイアンアイの象徴であるカノように、天空の白い月とケンタウのメカネカレイの瞳に映る



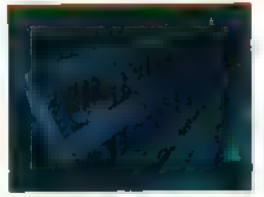
自分のことを、さらさらカヲルのこと、ついでに考えるレイ。ナカ、握りしめる答えは出てこない。



レイがカヲルから受けた、同じ感。「彼もレイ、君は僕と同じかね、そう言っただけか」

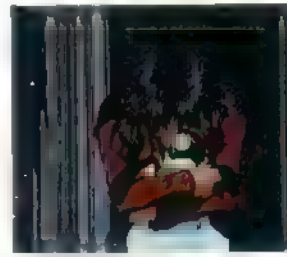
03 ミサト、ペンペンに別れを告げる

ミサトもまた独り。ペンペンを抱いて、マンションのテラスから湖と化した闇の中、第3新東京市の廃墟を眺めていた。「明日からは洞木さんのところでお世話になるのよ。しばらくお別れね」ペンペンに別れの言葉をかけるミサトは、思わず声を漏らしすすり泣くのだった



マンション「ペンペン」を抱き上げ、ミサトは別れを告げる

悲しそう、鳴き声を上げるペンペン。思いこみ上げ、ミサトはさらに強く抱きしめる



A.D.2015

●第3新東京市

05 カヲル、ゼーレと密会

「人は無から何も創れない。人は何かにするがなければ何もできない。人は神ではありませんからね」朝霧の中、カヲルの乾いた吐きが漏れる。だがそれは独り言ではなくゼーレとの会話であった。カヲルはゲンドウを糾弾するため送り込まれたのだ。ゼーレによれば、アダムの肉体はゲンドウの中にあるらしい。「だからこそお前に託す。我らの願いを」ゼーレのメンバーはそう言い残して消えた。



ゼーレとコンタクト。会話を交わすカヲル。彼はゼーレかケンタウへの切り札として、直接送り込まれた少年だったのか

会話の様子を、ミサトは超望遠眼鏡で監視していたのか。彼女はカヲルを取り巻いて、ズゼーレのモニタは見えない



A.D.2015

06 ミサト、リツコに面会

どうにもカヲルのことが胸に落ちないミサトは、日向マコトが密かに持ち出したデータを見て仰天する「EVAとのシンクロ率を自由に設定できるとはね、それも自分の意志で。またもなりふり構ってらんないか、盗聴の危険も顧みず、拘禁中のリツコに面会したミサトは、単刀直入に尋ねた。「フィフスの正体は何？」ミサトに背を向けたまま、リツコは答える。「おそらく、最後の使用者ね」



監視の目を逃れ、ジオフロントの橋上、カヲルのシンクロ実験データ、目を通すミサト。それは理論上ありえないデータだ

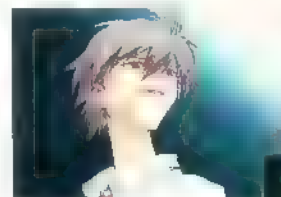
ミサトは拘禁中のリツコの元を訪れ、カヲルの正体を訊いてみる。だがミサトを見ることもなく、リツコは「最後の使用者」と告げる



●NERV本部

07 カヲル、行動を開始

いつの間に来たのか、カヲルは本部内の式号機ケイジの前に立っていた「さあいくよ、アダムの分身。そしてリリンのしもべ」式号機に向かってそう語りかけると、彼はきびすを返し、ケイジのステップから中空へと足を踏み出す。するとカヲルの体はぼんやりとした光に包まれ、式号機の顔面まで浮き上がる。ヒトに有らざる行動を見せるカヲルに反応して、式号機のセンサーアイが禍々しく輝くのだった



ケイジで、式号機を見上げて声をかけるカヲル。彼はゼーレの言葉、従い、目的を果たすため、いよいよ行動を開始したのである

宙に浮き上がり、式号機の顔面正面へと移動したカヲル。その途端、無人のため動きはする。式号機かなぜか起動した



シンジ、カヲルの部屋に泊まる

カヲル、ゼーレと面会

ミサト、リツコに面会

カヲル、行動を開始

A.D.2015

●NERV本部

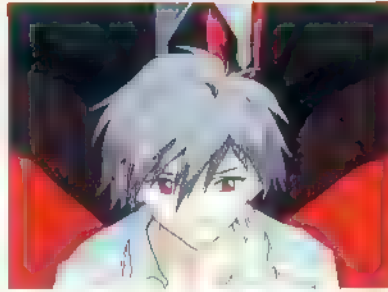
08

カヲルを第17使徒に認定する

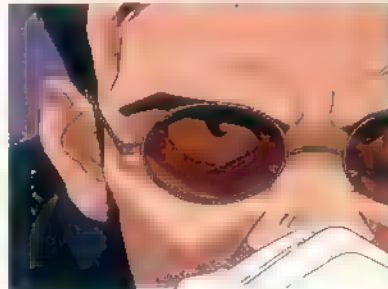
シンジが友情を感じた少年の正体は、使徒たった起動した無人の式号機はセントラルドグマへと侵入。その直後、警報が発令所に鳴り響く。「誰もいない? フィフスの少年ではないの?」訝がるミサトだが、疑問はすぐに解けた。式号機の位置にA.T.フィールドと使徒の反応を確認したのだ。「使徒? あの少年が」愕然とするミサト。その間にも式号機は、カヲルと共にセントラルドグマ最下層へと降下を続ける。冬月コウゾウはドグマ内の隔壁閉鎖を命じた。「少しでも良い、時間を稼げ」



起動した式号機「アスカは乗るな、カヲルは乗るな、彼は女は来た病室のヘト」



セレカ送り込んだ最後の使者カヲル。その第17使徒ケナの式号機を操る理由は何か?



驚く冬月、セントウは冷静に答える。老人は「コ予定を繰り上げるつもりだ。我々の手で」



発令所ではセントラルドグマ内にA.T.フィールドの発生と使徒を意味するパターン・青を確認した

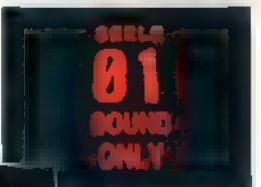
A.D.2015

●7

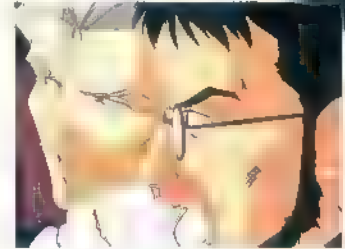
09

ゼーレ、状況を静観する

カヲルが使徒として活動を開始したことは、ゼーレにも伝わっていた。「アダムや使徒の力は借りぬ」「我々の手で未来へと変わるしかない。初号機による遂行を願うぞ」ゲンドウに命じるかのような口ぶりのキール。一方、式号機は隔壁を次々に突破してゆく



本部での事態の推移を静観するゼーレのメンバーたち



式号機との融合を示唆する冬月、ケントウは答えた「あるいは破壊を導くためかな」

A.D.2015

12

カヲル、ターミナルドグマに到達

死闘を繰り広げる2体のEVA。「人の希望は悲しみに綴られているね」それを見て虚しそうに語るカヲル次の瞬間、彼はより強力なA.T.フィールドを展開。発令所は完全にモニタを遮断されてしまった。初号機と式号機は組み合ったままターミナルドグマへ落下そしてカヲルはアダムの元へと向かう。



カヲルが発生させた結界のごとき強力なA.T.フィールドにより、発令所のセンサ類はすべて遮断された

ターミナルドグマへ辿り着いたカヲルは「どこか林、森、な目で初号機を一瞥し、アダムの元へと向かう」



13

新たなA.T.フィールド反応が出現

カヲルは最終安全装置を易々と解除し、アダムが眠るヘブンズドアを開いた。発令所に緊張が走る一方、初号機は未だ無人の式号機と戦い続けていた。その時、ターミナルドグマ内に強力なA.T.フィールドが新たに発生し、カヲルのA.T.フィールド内へと侵入してゆく。その発生源は、レイであった。



カヲルを追おうとした初号機に、式号機が立ち上がる。ターミナルドグマで2体のEVAの激しい戦いが続く

新たに発生した謎のA.T.フィールド。それはレイが発生させたものだが、レイは人とは思えぬ冷酷な眼差しで、カヲルを見つめる



14

カヲル、巨人の正体に気づく

「我らが母なる存在、アダムに生まれしものは、アダムへ帰らねばならないのか。人を滅ぼしてまで」アダムと対峙し独り呟くカヲルであった。しかし彼は、それがアダムでないことを看破する。「これはリリス!」そこへ式号機が轟音と共に倒れ込んできた。カヲルの振り向きざまに、初号機の姿が迫る

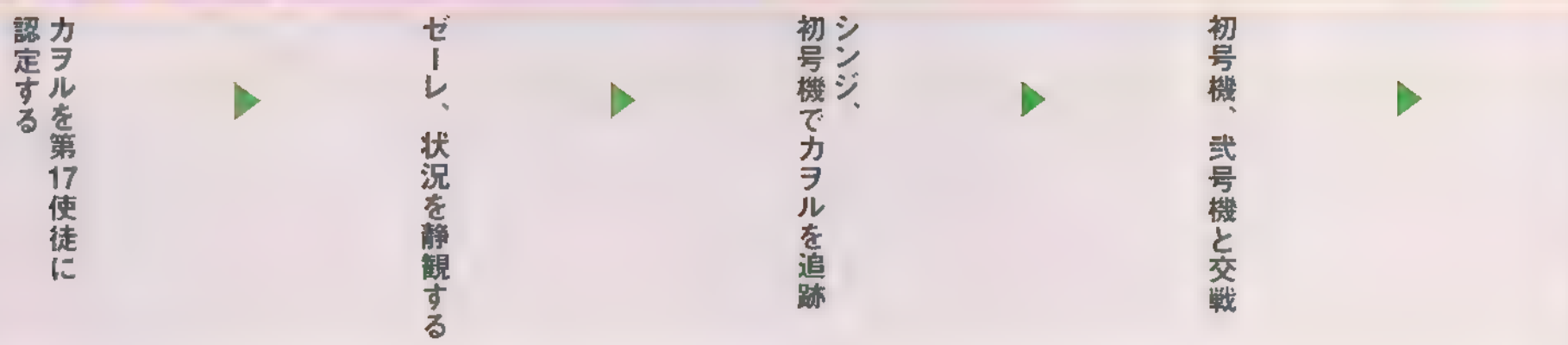


ターミナルドグマのアダムの前へ「ついでに、さあカヲル、たか、彼は」の白い巨人がアダムではないと見抜いた

現れた初号機に、向かって皮肉な笑顔を見せるカヲル。初号機が手を伸ばすと、彼は抵抗することなくその掌に捉えられた



2015年



A.D.2015

●NERV本部

10 シンジ、初号機でカヲルを追跡

式号機の侵攻に対して、ゲンドウは初号機による追撃を命じた。だが初号機で待機していたシンジにとって、信じられない出来事であった。「カヲルくんが、彼が使徒だったなんて、そんなのウソだ!」それでもミサトの命令を受け、シンジはカヲルの後を追う。「裏切ったな! 僕の気持ちを裏切ったな!」怒りと悲しみにその声は震えていた。



非情な出撃命令がノンノの耳、こたます「遅いな、ノンくん」たか カヲルの方では追撃を待ちわびていた

友情と信頼を裏切られたと感じたノンノは怒りを露わにして 初号機を駆り、セントラルドグマ内のカヲルを追撃する



A.D.2015

●セントラルドグマ

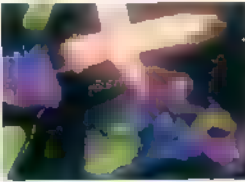
11 初号機、式号機と交戦

初号機は、カヲルの操る式号機と戦いを繰り広げる

EVA同士の戦闘が始まった。「ごめんよ、アスカ。シンジはそう呟くとブログ・ナイフを式号機へ突き立てた。だが式号機も即座にナイフで応戦、その様子を、カヲルは冷静に見つめる。カヲルに止めるよう懇願するシンジだが、彼ははっきりと言った。「EVAは僕と同じ体でできている 僕もアダムより生まれしものだからね」



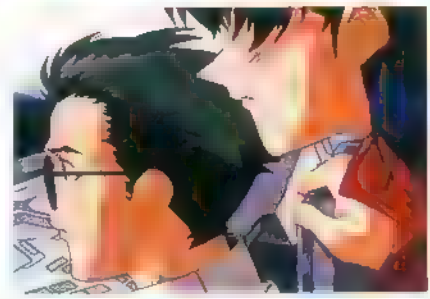
降下する式号機に追いついた初号機を、満足げに見上げるカヲル



式号機と組み合った初号機。ブログ・ナイフで式号機を斬りつけようとした初号機だが、式号機も瞬時にブログ・ナイフで応戦してきた



初号機のナイフが誤ってカヲルと向き、それがその刹那 A.T.フィールドが展開 助御した



式号機の侵攻は上まらず、サトウは万の場合本部を自爆させるよう日向へ密かに伝える

●ターミナルドグマ

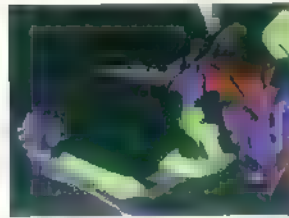
A.D.2015

●第3新東京市

15 初号機、第17使徒を殲滅

カヲルは 自らの意志で自身の消滅を願った

初号機に操られたカヲルは、シンジへ語りはじめる。「僕が生き続けることが、僕の運命だからだよ。結果、人が減びてもね。だがこのまま死ぬこともできる。生と死は等価値なんだ。僕にとってはね。自らの死。それが唯一の絶対の自由なんだよ」戸惑うシンジにカヲルは告げた。「遺言だよ、彼は死を望んでいた。でなければヒトが減ぶ。「そして君は死すべき存在ではない」カヲルは微笑みを浮かべて言う。「人には未来が必要だ。ありがとう、君に会えて嬉しかったよ」彼は死の訪れを待つ。そして最後の使徒は殲滅された



カヲルの体を掴んだ初号機。その手の中で彼はノンノ、語りはじめる



死を望むカヲル。ノンノは困惑するばかり、君か何を言ってるのか判らんないよ、たかカヲルは穏やかにしゃべり続けるのだ



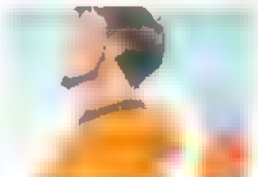
レイがカヲルのやりとりを無言で見守った。その顔には感情が無く、瞳は水のようだった



レイの視線を感じ、カヲルは顔を上げた。レイとカヲルの視線が交錯する。彼の瞳はやさらかた

16 シンジ、己の行為を後悔する

カヲルを殺めたシンジの心は沈んでいた。「初めて人から好きだって言われたんだ」静寂の夜空の下、カヲルと初めて出会った場所で、シンジはミサトに、カヲルのことを口にする。「カヲルくんが生き残るべきだったんだ。嗚咽するシンジ。死を望んだカヲルの選択をクールに否定したミサトに、シンジは呟いた。「冷たいね、ミサトさん」



初号機、ついに使徒の体カヲルの血が流れ流される。洗浄夜の露音の中で、ケントウとレイがそれを見て、ナ



自分が生き残ったことを悔やむシンジ。たか、サトウは厳しく「違つて、生き残るのは生きる意志を持つものだけよ

カヲル、

新たなA.T.フィールド反応
が出現

カヲル、
巨人の正体に気づく

初号機、
第17使徒を殲滅

シンジ、
己の行為を後悔する

遺伝子

GENE

生物の遺伝的な形質を規定する因子で、遺伝情報の単位とされる遺伝子。その基本概念は西暦1865年、植物学研究を行っていたグレゴール・ヨハン・メンデルによって定義された。彼はひとつの形質を決めるのは何らかの単位化された粒子状の物質——遺伝粒子であるとの見解を示し、後の遺伝研究の大きな礎となった。1869年、医学研究を行っていたヨハン・フリードリッヒ・ミーシャーが、後に遺伝情報を担う物質と位置づけられたDNAを発見。1903年には、生物学者ウォルター・S・サットンが減数分裂における染色体の挙動はメンデルの法則に従うとし、遺伝粒子が染色体上にあるという染色体説を提唱。さらに1909年、植物学者ウィルヘルム・ヨハンセンが遺伝粒子を“gene”——遺伝子と呼ぶことを提案した。遺伝子とその機能の解析は生物学のほとんどの分野と密接に関係したため、遺伝子に関する研究はさまざまな角度から進められ、目覚ましい発展を遂げていくこととなる。

新世紀を迎えた世界においてもさまざまな遺伝関連の研究が進められていたが、一般的な科学の限界は、“ヒトゲノム”の塩基配列の解読終了に到達するに留まっていた。ただし、一部には、そういった科学の限界を超越したかのような研究を推進する組織も存在した。それが、碓夫妻、赤木ナオコ、後に冬月コウゾウといった優れた人材を擁したゲヒルンである。彼らはゼーレが発見した始源の存在とされるアダムを調査、研究し、それによって得たものからEVAを創造するというアダム再生計画——通称E計画と呼ばれるプロジェクトを推進。始源の存在のコピーを生み出すという、形容するならば“神の領域”とも言うべき世界へと足を踏み入れた。なお、当然ながらEVAを創造するという作業自体は秘密裏に進行していたため、そのアダムのコピーを作成した手続は明らかにされていない。有性生殖によらず個体を増やすクローン技術の応用や、生命現象を分子レベルで理解しDNA分子だけではなく蛋白質や細胞、さらに個体レベルにおける遺伝子クローニングや遺伝子導入、さらにはゼーレが所有していた「裏死海文書」に記述された古代の秘術をも駆使したとも考えられるが、その真実を知る者は、E計画に携った一握りの人員のみである。

RELATED MATTERS

- EVA
- 使徒
- NERV
- 技術開発部技術局
- 綾波レイ



E計画によって建造された人造人間「使徒」に対抗し得る決戦兵器として、天文学的な経費をかけて建造された。

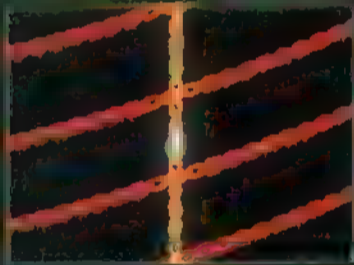


膨大な遺伝子情報を持つ
遺伝子操作技術

■遺伝子の研究

遺伝子はDNAが複製されることによって次世代へと受け継がれる。複製時はDNAの二重らせんが解かれ、それぞれに相補的な鎖が新生される。生命現象を理解し、それらがいかんにかに制御されているかを研究する上では、膨大な遺伝子情報の解読——DNA分子の塩基配列の解読や生み出される蛋白質の役割の解明など、多方面から生命の本質に迫ることが必要不可欠といえるだろう。

EVAが生体兵器であるならば、その建造には生物学——特に遺伝子関連の分野に精通した人材が必要であったことは言うまでもない。ゲヒルンは碓氷夫妻、冬月といった突出した研究者を中心に据え、さらに赤木ナオコ博士を協力者としてこれに対応。E計画における研究成果——人類の切り札となる汎用型決戦兵器の完成度を高めていった。



NERV本部施設には、セントラルドグマなど遺伝子関連の名を持つエリアがある。さらに内部施設には、DNAを連想させる施設なども存在しているようだ。

■遺伝情報を担うDNAと染色体

遺伝子は生物の遺伝的な形質を規定する因子であり、通常の生物は2個でひと細胞の遺伝子を持つ。例外も確認されているものの、遺伝情報の実体はDNAの塩基対（塩基配列）であると考えられており、親の双方からひとつずつ遺伝子を受け継いだ生物は、そこに含まれた情報（遺伝子型）に従った特徴（形質）を持つこととなる。なお、非常に長い物質であるDNAはタンパク質に巻き付きながら折り畳まれ、染色体を形成することで細胞核内に収納される。

●●DNA及び染色体の構造

生命現象を分子レベルで理解して、それらがいかんにかに制御されているかを研究することが分子生物学の主な関心であったが、現在ではDNA分子だけではなく、蛋白質や細胞、さらには個体レベルにおいても、遺伝子クローニングや遺伝子導入などの方法論を駆使しながら生命の本質に迫る為に必要不可欠となっている。ただし、1個の細胞内のDNAは非常に長いものであり、人間の場合は約2mにもなる。そのため、DNAはまずヒストンと呼ばれるタンパク質に巻きつきヌクレオソームを形成。さらにクロマチン繊維を形成し、最終的に染色体と呼ばれる遺伝情報を担う生体物となる。なお、ヒトの染色体には、最大で2億7,000万以上の塩基対が含まれている。

●●DNAの塩基配列



塩基はアデニン(A)・チミン(T)・グアニン(G)・シトシン(C)の4種類。DNAは塩基によって結合しており、その塩基対の配列が遺伝物質であるDNAの機能において重要な役割を果たすと考えられ、さまざまな生物において解析が進められている。



ゲヒルンにおける
その研究成果

■研究活動の概要

アダムを調査、研究し、わずか数年でそのコピーを造り出したゲヒルン。元となる存在と同じ遺伝情報を持つものを生み出す際は、当時からすでにクローン技術が用いられていたが、「受精卵移植」と「体細胞核移植」などの手法は未受精卵を持つメスの存在が不可欠となる。また、相応の時間を必要とするため、現実的にはこれらをそのまま流用したとは考え難く、ゲヒルンは独自の建造手法を確立していたと思われる。その技術は、ダミープラグ用コアの製造にも用いられたものと推測できるが、その真偽は定かではない。

才能ある遺伝子工学者であったというユイ。同分野の優秀な科学者は必要不可欠であり、E計画においては中心を担う人物であったと思われる。



後にゲヒルンに入所することとなった冬月。研究者としての彼の探究心が、悪印象の強いゲンドウの驚きを受ける要因となったことは間違いない。

■EVA(素体)の建造

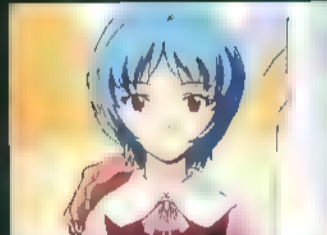
アダムを調査、研究によって得たものからEVAを創造するというアダム再生計画。センサーや装甲(拘束具)などを持つEVAだが、その素体が生物に分類されるものであるならば、クローン技術の応用や、遺伝子レベルでのクローニングや遺伝子導入といった手法により、アダムのコピーが生み出されたものと思われる。ちなみに、その素体を構成する物質は不明であり、使徒と同様に「光のようなもの」で構成された非炭素系生命体である可能性も考えられる。

■ダミープラグ用コアの培養

ダミープラグ用コア(生体部品)としての育成プラントと思しき施設が、NERV最深部のターミナルドグマに存在することからも、ファーストチルドレンである綾波レイはクローン技術を用いて生み出されたものと推測される。ただし、リリスの魂を持つという彼女が純粋なリリスのコピーであるならば、EVAと同様に、遺伝子レベルでのクローニングや遺伝子導入といった手法も活用された可能性も考えられる。



ゲヒルンではEVAを造り出すため、さまざまな試行錯誤が繰り返された。また、EVA番号機のみはリリスのコピーしたものと言われている。

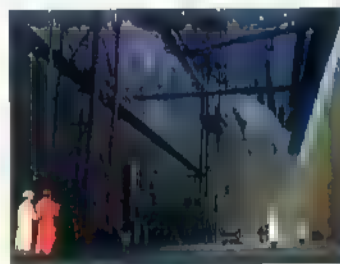


幼少時と使徒との戦闘時、二度も死亡が推定される状況を迎えたレイ。そのクローンと思しき存在は、魂の入れ物に通じぬものかもしれない。

/// 追加報告 ///

使徒の遺伝子について

EVA初号機と第4使徒の戦闘後、核以外はほとんど原型を留めている理想的なサンプルを入手したNERVは、さまざまな角度から解析を開始。その結果として使徒を構成する粒子の推測と、その遺伝子らしきものの信号の配置と座標が人間のそれと酷似しているという事実を掴んだ。ヒト及び使徒の遺伝子が突然変異によるものではなかったと仮定するならば、それぞれの始源とされるアダムとリリスの遺伝子についても類似したものと推測される。



3011	3012	ATTCGCTACG	CGTACGCT	4	11
3011	281	AGTACGCT	ATTCGCT	5	11
3011	261	CGTACGCT	ATTCGCT	6	11
3011	241	CGTACGCT	ATTCGCT	7	11
3011	221	CGTACGCT	ATTCGCT	8	11
3011	201	CGTACGCT	ATTCGCT	9	11
3011	181	CGTACGCT	ATTCGCT	10	11
3011	161	CGTACGCT	ATTCGCT	11	11
3011	141	CGTACGCT	ATTCGCT	12	11
3011	121	CGTACGCT	ATTCGCT	13	11
3011	101	CGTACGCT	ATTCGCT	14	11
3011	81	CGTACGCT	ATTCGCT	15	11
3011	61	CGTACGCT	ATTCGCT	16	11
3011	41	CGTACGCT	ATTCGCT	17	11

赤木リノ博士率いる技術開発部技術局、よる解析結果は、その時点、おいては解析不能と、芳しくないものだった。ただ、構成物質の違いはあっても、信号の配置と座標は人間の遺伝子と酷似しており、その固有成形パターンは人間の遺伝子と99.89%一致するという事実を突き止めるなどの収穫もあった。

3つの袋

葛城ミサト、赤木リツコ、加持リョウジが出席した大学時代の友人と思われる人物の結婚式で、スピーチに使われていた言葉。なお、結婚式では定番の内容であり、3つの袋は「お袋」「胃袋」「堪忍袋」のほか「給料袋」「小袋」などバリエーションもあるが、結婚生活において大切にしなければならないものを指す。この結婚式では披露宴でおなじみの「てんとう虫のサンバ」も歌われるなど、実に王道中の王道といった内容の披露宴になっている。



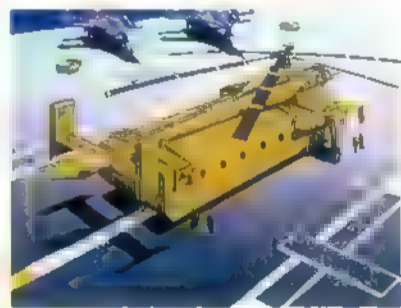
新郎新婦の上司と思われる人物が祝辞を述べている。かつては3つの袋に「旦那の給料袋」というオチがついていたようだが、最近では給料袋自体にあまりお目にかかれない。

ミリタリーマニア

戦争や軍事に関わる事柄に並々ならぬ興味を示す者のこと、碇シンジのクラスメイト、相田ケンスケは重度のミリタリーマニアである。戦闘機や兵器に造詣が深いのはもちろん、授業をサボって新横須賀に「みょうこう」という名の護衛艦を見に行ったり、ひとりで草むらにテントを張って泊まりがけで錬成訓練を行なうなど、知識だけに留まらない情熱はマニアと呼ぶにふさわしい。第4使徒シャムシエル襲来の際、一般市民として一度はシェルターに避難したケンスケだが、「どうせ死ぬならEVAを見てからがいい」と危険な屋外へ抜け出した。

Mil-55d

国連軍所有の輸送用ヘリコプター。太平洋上の国連海軍正規空母オーバー・ザ・レインボウに、EVAの非常用電源ソケットを運ぶ役目を担った。同時に、責任者の葛城ミサト以下、碇シンジ、相田ケンスケ、鈴原トウジが同乗。EVA式号機輸送中の艦長はこの任務を快く思わず、「いつから国連軍は宅配屋に転職したのか」とこぼしている。なお、惣流・アスカ・ラングレーがシンジを連れてEVA式号機輸送用タンカーのもとへ移動した際に使われたらしきヘリコプターはMil-2である。



隣にいる人間と比較すると一般的なヘリコプターよりも遥かに大型なものであることがわかる。しかし搭乗可能人数は5名と少なく、大半が格納部分となっているようだ。

む

無菌ケージ

NERV本部内にあり、EVAの洗浄に用いられる施設。EVA初号機が第12使徒レリエルとの戦いで体液まみれになった際、第17使徒タブリスを撃殺した際にこのケージ内で洗

浄された。ケージの壁面から洗浄液が噴射され、内部の整備員たちは防護服を着用して作業にあたる。

ムサシ・リー・ストラスバーグ

ゲーム「新世紀エヴァンゲリオン 鋼鉄のガールフレンド」に登場するオリジナルキャラクター。戦略自衛隊の少年兵であり、霧島マナ、浅利ケイタとは軍の中でも親しい仲間で、3人のリーダー的存在であった。ケイタと共に軍の最新兵器ライデンを奪い脱走、芦ノ湖に潜む。捕らわれたマナを助けるために姿を現し彼女を逃がすものの、n爆雷により生死不明となる。

登場作品「新世紀エヴァンゲリオン 鋼鉄のガールフレンド」

無人観測機

浅間山地震観測研究所の観測機。マグマ内を潜行できる耐熱耐圧仕様で、モニターカメラを持つ。左右のウェッジクローラーでマグマをかきながら潜航し、限界深度は660m前後である。浅間山火口で正体不明の影が観測された際、葛城ミサトはこれを使って影の正体を探った。その際、深度1,200mで耐圧隔壁に亀裂が入り、深度約1,300m付近で第8使徒サンダルフォンの蛹を発見、直後に圧壊している。KERMADEC-3も参照。



本来は地震観測用であるこの機械は、地上での観測に比べてより鮮明な画像データが収集できる。解析の結果パターン・青と乳白し、史上初の使徒捕獲作戦へと繋がった。

無伴奏チェロ組曲

バッハ作、全6曲から成る世界的に有名なチェロの独奏組曲。第1番ト長調のプレリュード部分を碇シンジが弾いていた。次第に運指が困難になる組曲中、第1番は練習曲的な意味合いを持っており、チェロを始めた者が最初に憧れる曲でもある。また、第17使徒殲滅の18ヶ月前に、第2新東京市の第二中学校生徒がこの曲を弾いていた。

ムラサキ

戦略自衛隊がEVA初号機につけたコードネーム。戦自内では、NERV本部の侵攻時に初号機を「ムラサキのヤツ」、式号機を「アカいヤツ」と呼んでいた。

メインシャフト

NERV本部のあるジオフロントと、ターミナルドグマを結ぶ縦穴の名称。メインシャフトを下降し続けることで、セントラルドグマを経てジオフロント最深部へと到達することができる。第14使徒ゼルエルは本部の第3基部にある最終装甲板を融解し、メインシャフトを露出させることに成功した。なお、第1発令所はこのメインシャフトに沿って位置したた

め、第14使徒ゼルエルの襲撃を受けて損壊、廃棄された。

メルキオール

「SUPER COMPUTER MAGI MELCHIOR・1」。3基で構成されるスーパーコンピュータMAGIシステムのサブシステムのひとつ。赤木ナオコ博士の人格が移植された、3基からなる生体コンピュータ「MAGIシステム」の内の1基。メルキオールには「科学者」としてのナオコの人格が移植されている。

CATEGORY

も

最上アオイ

ゲーム「新世紀エヴァンゲリオン 碇シンジ育成計画」に登場するオリジナルキャラクター。MAGIメルキオール主任オペレーターで階級は三尉。眼鏡をかけた理知的な美女だが、ときおりエキセントリックな言動を垣間見せる。歯に衣着せぬドライな性格の女性。優秀な科学者である赤木リツコを尊敬している。

登場作品「新世紀エヴァンゲリオン 碇シンジ育成計画」

模擬体

実験に用いられるEVAのダミー。NERV本部内プリブノボックスに設置されている。首は頭部の代わりに多数のチューブに繋がれ、腕部は筋肉組織が露出し、さらには下半身が存在しない。実験時にはエントリープラグの代わりにシミュレーションプラグを使う。「プラグスーツの補助無しに、直接肉体からハーモニクスを行なう」という趣旨の実験が模擬体を使って行なわれた際に、綾波レイの搭乗した模擬体は第11使徒イロウルによって下垂システムを短時間で侵され、制御を乗っ取られてしまう。



本来パイロットの意図通りに動くことにはない模擬体であるが、イロウルに侵食された模擬体は制御室へと手を伸ばす。

モグリ

無免許医師のこと。セカンドインパクト発生後、冬月コウゾウは愛知県豊橋市跡にて診療所を開業していた。医学は彼の専門外であるものの、「医者が足りない環境では、真似事であってもいいよりマシ」といえるほどの医療技術を持ち得ていたようで、冬月の才能の一端を知ることができる。



物資不足のせいかカーゼなどを繰り返し使っている様子も見受けられ、雑多な船内も相まって、決して衛生的とはいえない環境であつたと思われる。

モノリス

ゼーレのメンバーが自らの分身として使うホログラムの黒い板。モノリスには各メンバーの番号が赤く浮かび、メンバーたちは姿を現すことなく声だけで会話を行なう。「モノリス」とは彫刻に使われるような一枚岩を指す言葉。なお、映画「2001年宇宙の旅」においては、月のクレーターから発見された謎の物体であり、高さ：横幅：厚さが9：4：1の比率で構成されている。



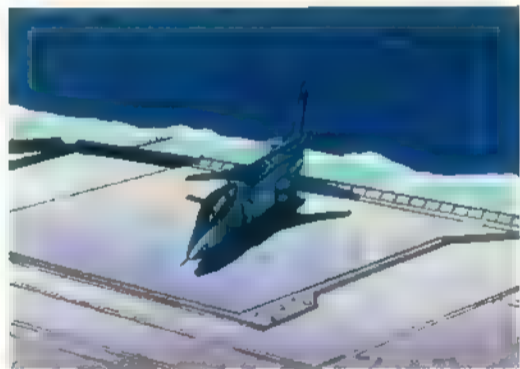
CATEGORY



Yak-38改

旧ソ連軍ヤコブレフ設計局で開発された垂直離着陸機。コードネームは「フォージャー（まがい物の意味）」。

艦載機として開発されたため垂直離着陸機能専用エンジンを搭載しており、そのために兵器搭載量が十分ではないという戦闘機としては大きな欠陥を持つ。第6使徒ガギエルに襲われた国連海軍正規空母オーバー・ザ・レインボウから、加持リョウジが脱出の際に使用した。通常、Yak-38はパイロット1名のみ搭乗可能であるが、加持の乗機は複座に改良された練習機型の機体を、実戦に配備したものであった。



加持が乗った、くすんだような水色の実戦配備機体のほか、航空ショー用の鮮やかな配色の機体もある。

ヤシマ作戦

攻守共に優れた第5使徒ラミエルに対抗するため、葛城ミサトが考えた作戦。その内容は、日本中を停電させて生み出した1億8千万kWの電力エネルギーを、EVA初号機のボジトロンナイパーライフルに集め、長々距離狙撃によって、ラミエルのA.T.フィールドごとコアを貫通させるという大規模かつ大胆なもの。この作戦にMAGIは賛成2、条件付き賛成1の回答を出し、勝算はわずか8.7%であった。ミサトによれば「9時間以内で実現可能。おまけに最も確実」な作戦である。なお、作戦名の「ヤシマ」とは、平家物語に描かれる那須与一の「扇的」の舞台として有名な「屋島」にちなむと考えられる。この話と本作戦は、一点を狙って射撃すること、失敗すれば自分が死ぬことなど共通点が多い。また、古来より日本の美称として「八洲国（やしまのくに）」という名があり、日本全土の電力を使うという点でこちらを由来と考えることもできる。

八杉

J.A.暴走時、時田シロウにデリートパスワードの使用許可を

申請された万田内務省長官が、許可の決定をたらいまわした先の人物。八杉はゴルフの最中で、時田はこちらでも取り合ってもらえなかった。「このような重要決定事項は口頭ではできないから、後から正式な書簡として回せ」というのが彼の言い分である。



のんきにゴルフを続けている八杉。暴走現場の緊迫した空気を理解できる筈もないだろう。

柳原隊

戦略自衛隊制圧部隊の一部隊。NERV本部侵襲において、新庄隊と共に本部下層の占拠にあたった部隊。戦闘意志のあるなしに関わらず、彼らの目に入ったNERV職員は全て殺されている。

ヤマアラシのジレンマ

ドイツの哲学者ショーペンハウアーによる、人間関係におけるジレンマの寓話。寒さに震える2匹のヤマアラシが、体を温めるために寄り添おうとした。ところが近づく程にハリが互いの体に刺さり、温め合うことができない。この寒さと痛みの葛藤が繰り返されることを人間関係に例え、「2つの苦悩の間で彷徨う様子」を表している。一方、フロイト心理学ではこの寓話を引用し、「紆余曲折を経て最も適切な距離感をつかむ」という肯定的な意味付けをしている。碓シンジと葛城ミサトとの場合を考えると、理解し合おうと明るく振る舞いながらもすれ違い、最初は傷つけ合ってしまった。しかし、結局シンジはEVAに乗ることを選び、ミサトも彼の心情を理解しようと歩み寄ることで適度な距離感を見つけたようである。このふたりのジレンマはどちらの意味にも当てはまるものといえそうだ。

山岸支隊

戦略自衛隊制圧部隊の一部隊。戦略自衛隊によるNERV侵襲作戦において、第7ケイジに向かいEVA初号機の確保にあたった。その際に操縦者の初号機搭乗を妨害するため、ケイジ内にパークライトを注入して初号機を埋めている。

山岸マユミ

ゲーム「新世紀エヴァンゲリオン 2nd Impression」に登場するオリジナルのキャラクター。第壱中学校2年A組に転校してきた眼鏡の物静かな少女。文化祭にて、碓シンジ、鈴原トウジ、相田ケンスケが発表するバンドのボーカルを務める。小さい頃、不仲だった両親。喧嘩のもつれから父が母を刺殺したところを見てしまい、それ以降、人とは距離を置くようになる。そのためか内気な性格で、読書が趣味。養父が国連所属の技術者であり、技術交換のためNERV本部のある第3新東京市に短期滞在する。同じクラスのシンジに自分と似たのを感じ、お互いを意識するようになっていく。一方、マユミの転校と時期を同じくして攻撃の通じない使徒が出現。その使徒は、自らのコアを彼女の体内に隠していた。自分の中にいる存在に気づき死のうとするマユミだが、シンジは彼女を助け、叱咤する。そしてコアの隠し場所が危機に瀕したため、使徒は本来の体にコアを戻し、初

号機により殲滅される。シンジの言葉に頑張る力を得たマユミは、希望を抱いて第3新東京市を去る。

登場作品「新世紀エヴァンゲリオン 2nd Impression」

CATEGORY



誘導兵器システムビル

第3新東京市西4-75-1-90に建設中のビル。地上8階、地下2階で2015年8月に完成予定。その用途、施工者については条例341の特令3によって「秘匿」とされている。このほか、15年ぶりの使徒襲来に伴って武器格納庫が急ピッチで整備され、EVAと第3新東京市は本格的に稼働を始めた。

建築計画のお知らせ	
建築物の名称	誘導兵器システムビル (仮)
建設予定の地区	第3新東京市 西4-75-1-90
用途	兵器格納庫
建築面積	延べ面積 約 10,000㎡
構造	鉄骨造
基礎	基礎工法 地中掘削工法
工期	2015年 8月 完成予定
建築主	NERV本部
設計者	NERV本部 建築課
施工者	NERV本部 建設課

目標を追尾するタイプの兵器を格納しておくのだろうか。明らかに軍事施設ではあるが、詳細は不明。

ユニゾン

同じ高さの音や旋律を、違う声や楽器で奏するという意味の音楽用語。第7使徒イスラフェル戦に向けて碓シンジと惣流・アスカ・ラングレーが練習を行なう際、EVA初号機とEVA式号機による「二点同時過重攻撃」の成功のカギとして、この言葉が使われた。同じ音でも出す人や楽器によって異なる雰囲気聞こえるため、心地よく混ざり合うように音を出すのはなかなか難しい。ふたりのバランス感覚が非常に重要になる奏法である。

CATEGORY



溶解液

第9使徒マトリエルが分泌する液体。胴体下部中央の目玉模様から大量に分泌される。これを受けたEVA式号機から煙のように蒸気が上がったことから、強力な酸性であることが伺える。

要塞都市

使徒の襲来を想定して建設された第3新東京市のこと。スムーズな緊急避難や都心部の戦闘形態への移行など、都市がまるごと要塞として機能する。第3使徒サキエルの襲来で都市に被害が出たためか、主婦が井戸端会議で「いくら要塞都市っていっても、あてにできないし、ねえ」と語っていた。

陽電子

電子と逆であるプラスの電荷を持つ反粒子。質量や電荷の絶対量は電子と同等である。ボジトロンライフルはこれを弾体として射出、対象に接触した途端に対消滅を起こし対象を破壊する。

第3次接続実験	21	タラップ	25	トレーニングプール	29
第3執務室	22	探査針	25	トレーラー	29
第3使徒	22	タンカー	25		
第3循環パイプ	22	男性オペレーター	25	内在化	29
第3新東京市	22	単体	25	内副的	29
「第3新東京市街戦」中間報告書	22	ち		内部電源	29
第3新東京市ゼロエリア	22	知恵の実	25	長尾峰	29
第3新東京市地下F区第6番24号	22	チェロ	26	渚カヲル	29
第3新東京市立第壱小学校	22	地下第2実験場	26	夏の太陽	29
第3新東京市立第壱中学校	22	地球環境	26	77号線	29
第3新東京市環状7号線	22	チャット式シリーズ 中学歴史	26	生写真	29
第3装甲板	22	中央作戦司令室	26	涙	29
第334地下避難所	22	中央統括指揮車	26	鳴らない、電話	29
第11使徒	22	中央病院	26	南極大陸	30
第15使徒	22	中枢神経素子	26	南極大陸マーカム山	30
第13使徒	22	中部警戒管制司令部	26	南極調査船	30
第10使徒	22	中和	26	南極の地下空洞	30
第17次中間報告	22	徴発令状	26	南沙諸島	30
第17使徒	22	諜報2課	26	に	
第12使徒	22	直結回路	26	ニードル発射装置	30
第14使徒	23	チルドレン	26	西添博士	30
第16使徒	23	つ		二点同時過重攻撃	30
大深度地下施設中央部	23	通過機式	26	日日経産新聞	30
タイタス・アンドロニカス	23	通常回線	26	2年A組	30
第7ケイジ	23	通常兵器	26	日本経済新聞	30
第7ケイジ直轄制御室	23	月	26	日本国政府	30
第7警戒衛星	23	机	27	日本国政府内務省	30
第7次建設	23	つまみ	27	日本重化学工業共同体	30
第7実験場	23	て		日本政府調査部の女性	30
第7使徒	23	D型装備	27	人形	30
第7世代有機コンピュータ	23	D級勤務者	27	ニンニクラーメン チャーシュー抜き	30
第2隔離施設	23	D-17	27	ぬ	
第2ケイジ	23	ディーゼル	27	ぬいぐるみのサル	31
第2次稼働延長試験	23	定期検診	27	ね	
第2次ジオフロント攻防戦	23	偵察用無人ヘリコプター	27	ネオバン400	31
第2次整備計画	23	停止信号プラグ	27	ネクロシス	31
第2次運部計画	23	停電	27	ネコの小物	31
第2次直上会戦	23	ディラックの海	27	熱影張	31
第2実験場	23	適格者	27	根府川	31
第2使徒	23	できそこないの群衆	27	NERV	31
第2支部	23	テストプラグ	27	ネルフ、誕生	31
第22警戒群旧御前崎S.S.	23	デストロドー	27	NERVのエンブレム	31
第2循環パイプ	23	電源車	27	NERV本部	31
第2新東京市	23	電源装着トレーラー	27	NERVマニュアル	31
第2新東京市第三中学校	24	電源ビル	28	の	
第2東京大学	24	天使	28	ノゾミ	31
第2発令所	24	天井都市	28	野辺山	31
耐熱用プラグスーツ	24	てんとう虫のサンバ	28		
第8格納庫	24	テンベスト	28	ばあさん	31
第8管区	24	電力供給コンセント	28	バージ	31
第8使徒	24	と		パーソナルパターン	31
第87経路	24	ドイツ支部	28	ハーモニクス	32
第87タンパク壁	24	東京グルメ	28	ハーモニクステスト	32
太平洋艦隊	24	とうげんだい	28	バイオハザードマーク	32
大浴場	24	統幕会議	28	パイロット	32
第4次選抜候補者	24	蘭部装甲	28	バウムクーヘン	32
第4隔離施設	24	時田シロウ	28	バケツ	32
第4使徒	24	徳さん	28	箱根	32
第6ケイジ	24	独12式自走臼砲	28	箱根の地下空洞	32
第6シェルター	24	特殊監察部	28	箱根ロープウェイ	32
第6使徒	24	特殊装甲板	28	方舟	32
第6パイプ	24	特殊ベークライト	28	バズーカ	32
第6マルボルジェ	25	特別非常事態宣言	28	パターン・青	32
第666プロテクト	25	独房	28	パターン・オレンジ	32
廣兼山	25	特例582	29	パターン・グリーン	32
高橋観	25	特科大隊	29		
高橋観のウグイス嬢	25	特訓	29		
たたいま	25	豊橋市跡	29		
タブリス	25	トランジスタンス	29		
魂	25				
ダミーシステム	25				
タミープラグ	25				
ダミープログラム	25				

パターン・セピア	32	平常心	36	モノリス	39
パターン・レッド	32	ハイブリックの限界	36	や	
ハッキング	32	ベークライト	36	I need you. Do you love me? Take care of yourself.	
バックロールエントリー	32	ベシズム	36	真実者	39
バッテリーバック	32	H&K USP	36	Yak-38改	39
発令所	32	ヘブンスドア	36	ヤシマ作戦	39
ハラスト	32	便所	36	八杉	39
バルス	33	ペンペン	36	柳原隊	39
バルタザール	33	ほ		ヤマアラシのジレンマ	39
バルディエル	33	BOA	36	山岸支隊	39
はるな	33	保安条例第8項	36	山岸マユミ	39
バレットライフル	33	保安課報部	36	ゆ	
バレットライフルのハードケース	33	保安部メインバンク	37	誘導兵器システムビル	39
バレンタイン休戦臨時条約	33	防護服	37	ユニゾン	39
反動形成	33	帽子	37	よ	
ハンドガン	33	放射能防護服	37	溶解液	39
ハンドバズーカ	33	暴走	37	要塞都市	39
汎用人型決戦兵器	33	ポジロンスナイパーライフル	37	陽電子	39
ひ		ポジロン20Xライフル	37	抑圧	40
BX293A	33	ポジロンライフル	37	予算	40
B型装備	33	ポジロンスナイパーライフル改	37	四人目の適格者	40
BC兵器	33	補償	37	予備	40
B-09	33	墓地	37	予備電源	40
Bダナン型防壁	33	ホットライン	37	402号室	40
光の巨人	33	ホメオスタシス	37	400%	40
光の翼	33	PoYo PoYo II	37	ら	
光の柱	34	洞木ヒカリ	37	I need you. Do you love me? Take care of yourself.	
光の楯	34	ポリゾーム	37	真実者	39
非常召集	34	ま		雷雲	40
非常制動用固体ロケット	34	I need you. Do you love me? Take care of yourself.		ライテン	40
非常電話	34	毎朝新聞	37	ラップトップPC	40
非常用ハッチ	34	マイクロチップ	38	ラブレター	40
非常用手動制御室(主)	34	マイクロマシン	38	ラベンダーの香り	40
非常用直通昇降機	34	マイトーシス	38	ラミエル	40
非常用電源ソケット	34	マイ♥ハニーへ	38	り	
非常用バッテリー	34	MAGI	38	リアクター	40
ヒデコ	34	MAGIタイプ	38	リニア式小田急ロマンスカー	40
ヒト	34	マグマダイバー	38	リフトビル	40
VTOL軽戦闘機	34	まごころを、君に	38	リリス	40
VTOL重戦闘機	34	街	38	リリスの卵	40
人の遣りしもの	34	松代	38	リリン	40
登メシ	34	マトリエル	38	リリンのしもべ	40
日向マコト	34	マルドゥック機関	38	る	
ふ		マルドゥックの報告書	38	LUNAR MODULE 307	40
ファースト	35	マルボルジェ	38	れ	
ファーストインバクト	35	万田	38	レイ、心のむこうに	40
ファーストエイド機能	35	マンモス団地	38	歴史の教科書	40
ファーストチルドレン	35	み		レゾンデートル	40
フィフスチルドレン	35	ミサイル陣地	38	劣化ウラン弾	40
フィフスマルボルジェ	35	ミサトのペンダント	38	レモングラフ	40
封印	35	見知らぬ、天井	38	レリエル	40
ボール	35	3つの鏡	39	ろ	
フェラーリ328	35	ミリタリーマニア	39	62秒	40
フォースチルドレン	35	Mil-55d	39	六分儀ゲンドウ	40
アカヒレチャーシュー大盛り	35	む		601	40
復元	35	無菌ケイジ	39	ロケットランチャー車両	40
副発令所	35	ムサシ・リー・ストラスパーク	39	ロジックモード	40
フケツ	35	無人観測機	39	ロンギヌスの楯	40
二子山	35	無伴奏チェロ組曲	39	ロンギヌスの楯(レプリカ)	40
冬月コウゾウ	35	ムラサキ	39	わ	
ブラグスーツ	35	め		I need you. Do you love me? Take care of yourself.	
ブラッドタイプ	36	メインシャフト	39	真実者	39
ブリゲート	36	メルキオール	39	私は人形じゃない!	40
ブリブノーボックス	36	も			
フロクレッシブ・ナイフ	36	最上アオイ	39		
プログレッシブ・ナイフ(改)	36	模擬体	39		
フロッピー	36	モグリ医者	39		
分離不安	36				
へ					
兵装ビル	36				

EVANGELION: DEATH AND EVANGELION: REBIRTH

シト新生 DEATH AND REBIRTH

(公開日: 97.3.15)

スタッフリスト

DEATH 編

EVANGELION: DEATH STAFF

構成・脚本

薩川昭夫 庵野秀明(脚本)

絵コンテ

摩砂雪

作画監督

摩砂雪 貞本義行 庵野秀明

色彩設定

高星晴美

美術監督

加藤浩

撮影監督

白井久男

編集

三木幸子

音響監督

田中英行

制作担当

坂部久明

監督

摩砂雪

総監督

庵野秀明



REBIRTH 編

EVANGELION: REBIRTH STAFF

構成・脚本

庵野秀明

絵コンテ

鶴巻和哉 摩砂雪 庵野秀明

エヴァンジェルスデザイン

本田雄

キャラクター作画監督

黄瀬和哉

メカニック作画監督

本田雄

色彩設定

高星晴美

美術監督

加藤浩

撮影監督

白井久男

編集

三木幸子

音響監督

田中英行

制作担当

松井正一

監督

鶴巻和哉

総監督

庵野秀明



DEATH & REBIRTH テーマソング

A THEME SONG

魂のルフラン

 歌: 高橋洋子 作曲: 大森俊之
 作詞: 及川眠子 編曲: 大森俊之


THE END OF EVANGELION

(公開日：97.7.19)

スタッフリスト

Air / まごころを、君に

色彩設定

高星晴美

美術監督

加藤浩

撮影監督

白井久男

編集

三木幸子

音響監督

田中英行

制作担当

松井正一 西沢正智

監督

鶴巻和哉

総監督

庵野秀明

キャスト

CAST

碇シンジ

緒方恵美

葛城ミサト

三石琴乃

綾波レイ

林原めぐみ

惣流・アスカ・ラングレー

宮村優子

碇ゲンドウ

立木文彦

冬月コウソウ

清川元夢

#25「Air」

脚本

庵野秀明

絵コンテ

鶴巻和哉 樋口真嗣 摩砂雪

キャラクター作画監督

黄瀬和哉

メカニック作画監督

本田雄



#26「まごころを、君に」

脚本

庵野秀明

絵コンテ

庵野秀明 樋口真嗣 甚目喜一

作画監督

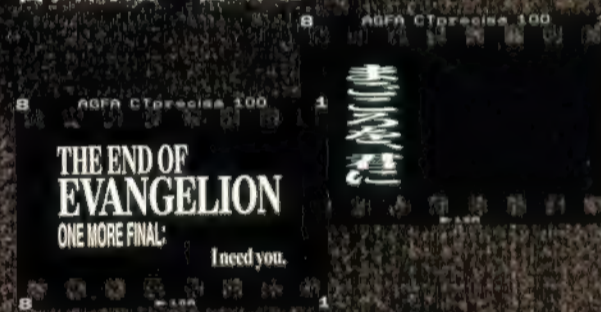
鈴木俊二 平松禎史 庵野秀明

ビジュアルウォーターアーティスト

摩砂雪

作画監督補佐

古川尚哉 吉成曜



加持リョウジ

山寺宏一

日向マコト

結城比呂

伊吹マヤ

長沢美樹

青葉シゲル

子安武人

キール・ローレンツ

麦人

ゼーレ

大山高男 長嶺高士 永野広一

松本保典 沢木郁也

渚カヲル

石田彰

碇ユイ

林原めぐみ

惣流・キョウコ・ツェッペリン

川村万梨阿

戦自師団長

沢木郁也

戦自副長

松本保典

首相

沢木郁也

秘書

川村万梨阿

THE END OF EVANGELION テーマソング

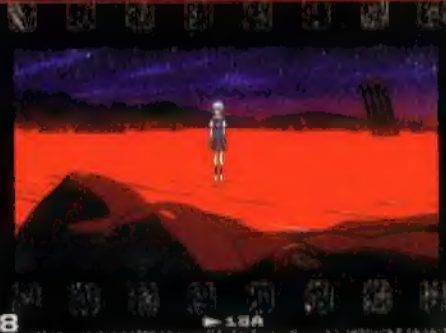
A THEME SONG

THANATOS -IF I CAN'T BE YOURS-

歌：LOREN & MASH

作詞：MASH

作曲 & 編曲：Shiro SAGISU



エヴァンゲリオン イベント①

エヴァ関連のイベントは試写会だけに留まらず、セル画やガレージキットの展示会、クリエイターの個展、そして、オーケストラコンサートなども行なわれている。イベントでは声優によるトークショーなどもあり、当時のファンを大いに喜ばせていた。



試写会からコンサートまで

エヴァでは、TV放送開始前よりイベントが行なわれており、以後、ブームの加熱と共に様々なイベントが開催された。TV放送開始前のイベントとしては、まず1995年3月に開催された角川書店「Newtype」10周年記念イベント「10Daysアミューズメントパーク」が挙げられる。これはエヴァのみをフィーチャーしたイベントではないが、会場にてアニメーターの鈴木俊二氏描き下ろしによるエヴァのパネル(Newtype同年4月号の表紙イラスト)が展示され、このとき大々的にアニメ製作が報じられたのである。そして、放送開始3ヶ月前の7月、ついにファンに向けたエヴァの試写が行なわれる。GAINAX主催のファンイベント「ガイナ祭'95」にて、第壹話、第貳話が上映されたのだ。会場には庵野秀明監督も登場し、イベントを盛り上げたと言う。

そして、TV放送終了後、エヴァは社会現象と呼ばれるほどの盛り上がりを見せ、旧劇場版公開が決定。「エヴァンゲリオンアートオブギャラリー」は、この旧劇場版公開記念イベントとして開催された。会場ではセル画展示と共に、ムービックによる関連グッズの物販もあり、旧劇場版の公開に向けてファンのモチベーシ

ョンを高めた。また、春と夏の旧劇場版では、それぞれ大都市での同時試写会を開催。さらに春の旧劇場版公開前日には、新宿ミラノ座にて前夜祭も行なわれた。

エヴァと言えば、音楽面でも高く評価されているが、1997年7月にはオーケストラコンサート「エヴァンゲリオン交響楽」も開催された。これは新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏だけでなく、司会をエヴァの声優陣が日替わりで務める豪華なイベントであった。また、エヴァのクリエイターたちによる個展が開催されたことにも注目したい。庵野監督の「庵野秀明の世界」、貞本義行氏の「貞本義行の仕事展」がそれである。それぞれデビュー当時から作品が展示されたが、その中でもやはりエヴァの存在は大きかったようだ。ふたりの個展はそれぞれの地元である山口県宇部市、愛知県高浜市で開催。大都市でのイベントではなかったが、全国各地からファンが駆けつけた。

ゲームなど、新商品のリリースと合わせたイベントも様々な形態で行われた。イベントの魅力はやはり会場に行った者にしか体感できないライブ感にある。そして、メディアには流れないオフレコのエピソードなどが聞けるのもイベントならではの魅力である。

特記事項

エヴァンゲリオン交響楽

1997年7月、渋谷Bunkamuraオーチャードホールにて開催された「エヴァンゲリオン交響楽」は、のちにLD、およびCD化されリリースされている。このイベントではBGMをオーケストラアレンジし、劇中使用のクラシックと共に新日本フィルハーモニー交響楽団が演奏。さらに声優陣も多数登場しているだけに、ビジュアル面としても評価の高いコンサートであった。VHS版、LD版は絶版となっているだけに、DVD版としての再リリースが待たれる。



エヴァンゲリオン 交響楽 映像版(LD)

発売日：1998年3月4日
定価：4,935円(税込)

エヴァンゲリオン 交響楽(CD)

発売日：1997年12月22日
定価：3,059円(税込)

EVANGELION SPIN-OFF GAMES

エヴァンゲリオン ゲームリスト

EVANGELION GAMES LIST

リストの見方	デジタルアドベンチャー 新世紀エヴァンゲリオン	ドラマチックアドベンチャー 新世紀エヴァンゲリオン 2nd Impression	マルチエンディングアドベンチャー 新世紀エヴァンゲリオン 鋼鉄のガールフレンド
①ジャンル ②ゲームタイトル ③発売日 ④発売元 ⑤プラットフォーム	SS 1996年03月 ▶ セガ	SS 1997年03月 ▶ セガ	Win Mac PS SS 1997年07月 ▶ ガイナックス
カード収集ミニゲーム 新世紀エヴァンゲリオン デジタルカードライブラリ	ミニゲーム 新世紀エヴァンゲリオン エヴァと愉快的仲間たち	ミニゲーム シンジと愉快的仲間たち それってソリティア?	ミニゲーム シンジと愉快的仲間たち ロジック大作戦
SS 1997年09月 ▶ セガ	Win PS SS 1998年07月 ▶ ガイナックス	Win 1999年02月 ▶ ガイナックス	Win 1999年05月 ▶ ガイナックス
ミニゲーム シンジと愉快的仲間たち セカンド・花札いんばくと	アクション 新世紀エヴァンゲリオン	育成シミュレーション 新世紀エヴァンゲリオン シト育成	ミニゲーム シンジと愉快的仲間たち 爆裂大富豪
Win 1999年06月 ▶ ガイナックス	N64 1999年06月 ▶ バンダイ	WS 1999年07月 ▶ バンダイ	Win 1999年07月 ▶ ガイナックス
ミニゲーム シンジと愉快的仲間たち ボンジョルノ! 7ならべ	ミニゲーム シンジと愉快的仲間たち アメリカンページ1	タイピング 新世紀エヴァンゲリオン タイピング-E計画	タイピング 新世紀エヴァンゲリオン タイピング補完計画
Win 1999年08月 ▶ ガイナックス	Win 1999年09月 ▶ ガイナックス	Win DC PS2 1999年12月 ▶ ガイナックス	Win DC 1999年12月 ▶ ガイナックス
麻雀ゲーム 新世紀エヴァンゲリオン 麻雀補完計画	育成シミュレーション 新世紀エヴァンゲリオン 綾波育成計画	ミニゲーム 綾波育成計画 ぶかぶかレイちゃん	恋愛アドベンチャー 新世紀エヴァンゲリオン 鋼鉄のガールフレンド2nd
GBC 2000年09月 ▶ キングレコード	Win DC 2001年05月 ▶ ガイナックス	Win 2003年04月 ▶ ガイナックス	Win Mac PS2 2003年05月 ▶ ガイナックス/ブロッコリー
ワールドシミュレーター 新世紀エヴァンゲリオン2	育成シミュレーション 新世紀エヴァンゲリオン 綾波育成計画 withアスカ補完計画	デジタルアドベンチャー 新世紀エヴァンゲリオン インタラクティブDVD	ドラマチック育成ゲーム 新世紀エヴァンゲリオン 碓シンジ育成計画
PS2 2003年11月 ▶ バンダイナムコゲームス	PS2 2003年12月 ▶ ブロッコリー	DVDPG 2004年06月 ▶ セガ	Win 2004年09月 ▶ ガイナックス
実機パチンコシミュレーター CR新世紀エヴァンゲリオン	マルチエンディングアドベンチャー 新世紀エヴァンゲリオン 鋼鉄のガールフレンド 特別編	ワールドシミュレーター 新世紀エヴァンゲリオン2 造られしセカイ -another cases-	実機パチンコ/パチスロシミュレーター CR新世紀エヴァンゲリオン・ セカンドインパクト& パチスロ新世紀エヴァンゲリオン
PS2 2005年10月 ▶ D3パブリッシャー	Win PS2 2006年03月 ▶ サイバーフロント	PSP 2006年04月 ▶ バンダイナムコゲームス	PS2 2006年06月 ▶ D3パブリッシャー
アドベンチャー シークレット オブ エヴァンゲリオン	新世紀推理アドベンチャー+アクション 名探偵エヴァンゲリオン	実機パチンコシミュレーター CR新世紀エヴァンゲリオン ~奇跡の価値は~	乱闘型3D格闘アクション 新世紀エヴァンゲリオン バトルオーケストラ
PS2 PSP 2006年12月 ▶ サイバーフロント	PS2 2007年01月 ▶ ブロッコリー	PS2 2007年06月 ▶ D3パブリッシャー	PS2 2007年06月 ▶ ブロッコリー

Win: ウィンドウズ/Mac: マッキントッシュ/PS2: プレイステーション2/PS: プレイステーション/PSP: プレイステーション・ポータブル/DC: ドリームキャスト/SS: セガサターン/N64: ニンテンドー64/
GBC: ゲームボーイカラー/WS: ワンダースワン/DVDPG: DVDプレイヤーズゲーム

Column

ゲームオリジナルの登場キャラ&メカ

スピンオフされたエヴァのゲームには、アニメ本編のキャラクターのほか、ゲームオリジナルの人物やメカニックが多く登場している。中にはアニメ本編のスタッフである貞本義行氏や山下いくと氏がデザインを手がけたものもあり、エヴァの世界観を広げている。物語もまた、アニメに忠実なものだけではなく、設定を用いて再構築したものなど、バリエーションに富んだ作品が生み出され続けている。

ゲームタイトル	オリジナルキャラクター&メカニック
新世紀エヴァンゲリオン(SS)	オリジナル使徒
新世紀エヴァンゲリオン 2nd Impression	山岸マユミ、オリジナル使徒
新世紀エヴァンゲリオン 鋼鉄のガールフレンド	霧島マナ、ムサン・リー・ストラスバーク、浅利ケイタ、徳さん、トライデント級陸上軽巡洋艦
新世紀エヴァンゲリオン2	初号機F型装備、全領域兵器/マステマ、大型破砕兵器デュアル・ソー、J.A.改
新世紀エヴァンゲリオン 碓シンジ育成計画	阿賀野カエデ、大井サツキ、最上アオイ
シークレット オブ エヴァンゲリオン	剣崎キョウヤ、加賀ヒトミ、駿河ハジメ、香取ユウジ、若岳ミツル、ホーク、ポーター
名探偵エヴァンゲリオン	香椎エリカ、薩摩ミミ、那智キョウコ、葛城ヒデアキ、園分寺、白瀬市長、死徒、エヴァンゲリオン乙型
新世紀エヴァンゲリオン バトルオーケストラ	エヴァンゲリオン甲型